

# 11

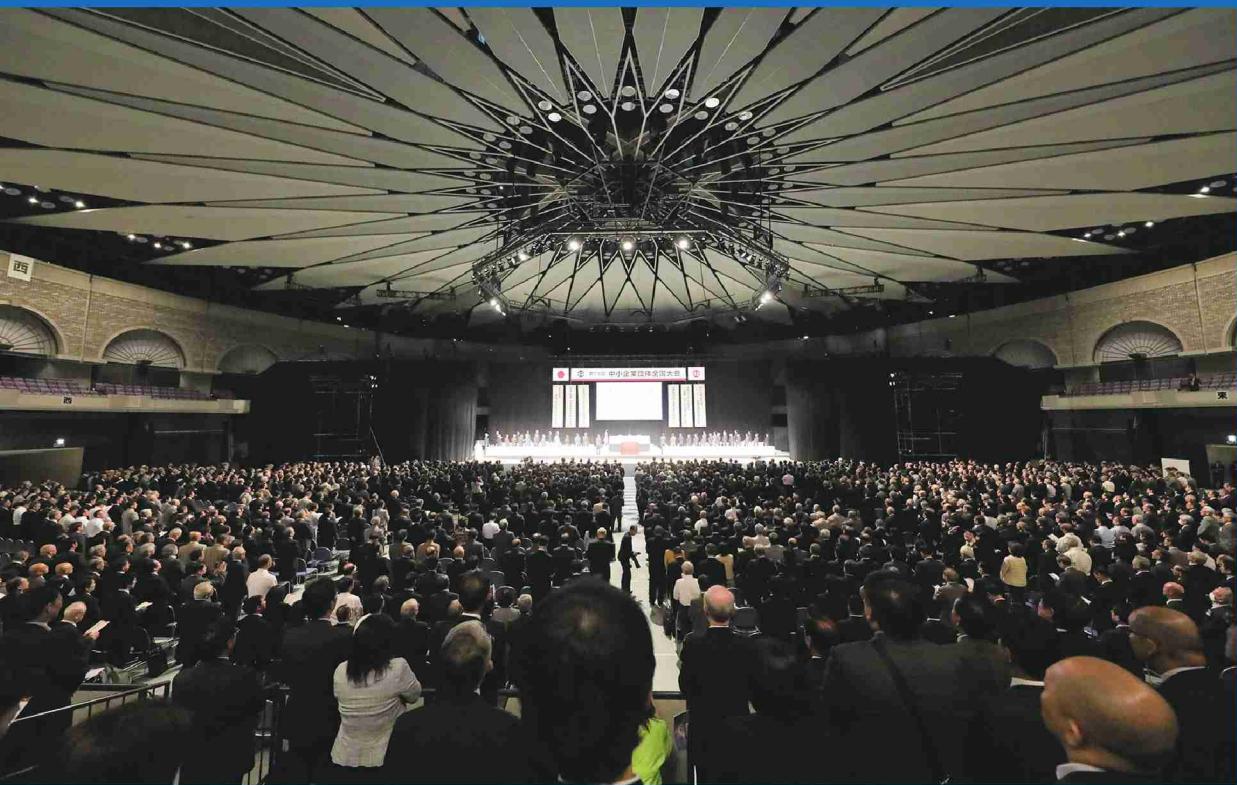
# 活性化情報誌

# 中小企業かごしま



2019 第773号

- 第71回全国中小企業団体全国大会開催報告
- 令和元年九州・沖縄ものづくり展開催報告



# 目次

特集1 第71回中小企業団体全国大会 開催報告	1
特集2 令和元年九州・沖縄ものづくり展 開催報告	25
寄稿 これだけは知っておきたいサイバーセキュリティ（第3回）	56
●メールにご用心／マルウェアを防ぐ	
中央会の動き	57
●ものづくり補助金フォローアップ事業 展示会出展報告	
●かごんまわっぜかフェスタ'19を開催（中央会青年部会）	
●和菓子づくりを通じて、新たな商品開発について学ぶ (鹿児島県菓子工業組合)	
●チャリティゴルフ大会を開催（中央会青年部会）	
組合トピックス	61
●新工場落成式、創立45周年記念式典を開催（協業組合ユニカラー）	
新設組合紹介	62
●鹿児島令和企業組合	
●国際人材創生事業協同組合	
業界情報	63
令和元年9月 情報連絡員報告	
倒産概況	66
令和元年10月 鹿児島県内企業倒産概況	
中央会関連主要行事予定	67



# 特集 1

## FEATURE

### 第71回 中小企業団体全国大会開催報告

新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来  
～時空を超えて 舞台は鹿児島から～

令和元年11月7日（木）、鹿児島アリーナにおいて、第71回中小企業団体全国大会を開催しました。

鹿児島での全国大会の開催は、昭和57年11月に鹿児島県体育館において開催した第34回大会以来、実に37年ぶりとなります。

会場には国や地方自治体・関係機関などの来賓や全国の中小企業団体関係者など約3,000名が一堂に会し、中小企業が必要とする施策への要望事項を決議いたしました。

#### ■中小企業団体全国大会とは

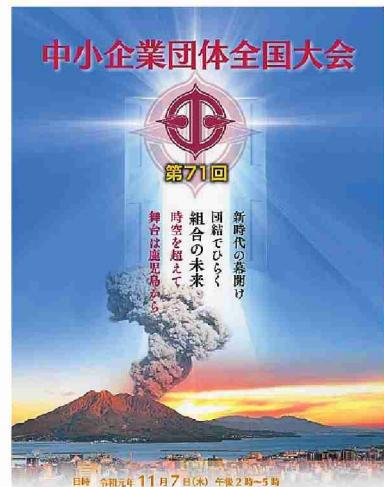
全国におよそ359万社ある事業者のうち、中小企業・小規模事業者の割合は約99.7%（約359万社）を占めています。中央会は、製造業・商業・サービス業など全国およそ2万8千の中小企業組合等を構成メンバーとし、約272万社（全中小企業数の約7割）が組合等の傘下企業として参画する、我が国最大の中小企業団体です。

中小企業団体全国大会は、中小企業者で組織する全国の組合等の総意を内外に広く表明するとともに、政府等に中小企業の実情と振興施策を訴え、中小企業の持続的な成長と豊かな地域社会の実現を図ることを目的としています。



## ■大会スローガン

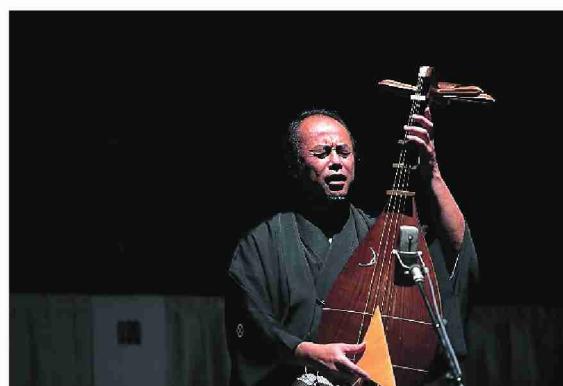
1. 生産性向上・ものづくり対策の強化
2. 消費税対策と事業承継施策の強化
3. 労働・雇用・社会保険料対策の推進
4. まちづくりの推進と商業・サービス業対策の拡充
5. 震災復興、豪雨・風水害等対策の拡充
6. 中小企業組合等連携組織対策の拡充



全国大会リーフレット

## ■オープニング

オープニングでは、鹿児島の自然・神々を感じる霧島九面太鼓、明治維新の魂を感じる薩摩琵琶（演奏：島津義秀氏）、示現流演舞（演：東郷財団）などが披露され、全国各地から来場された皆様方に鹿児島の文化を堪能いただきました。



## ■主催者挨拶



### 全国中小企業団体中央会 会長 森 洋

第71回中小企業団体全国大会をここ鹿児島市で開催し、全国各地より、約3,000名の中小企業組合等連携組織の代表者の皆様にご参加いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

時代は「平成」から「令和」に移りました。しかし、相変わらず日本列島には災害が頻発しています。8月には九州北部に集中豪雨がありました。9月には台風15号が千葉県を中心に関東一円で大変な被害に遭いました。そして10月には台風19号・21号が千葉県・福島県・宮城県・岩手県にまで甚大な被害をもたらしました。

また、先週は沖縄県の首里城が残念ながら焼失してしまいました。首里城再建に向けて、沖縄県の事業協同組合が動き出しています。首里城再建のため、また集中豪雨に見舞われた方々のために我々中小企業・小規模事業者の底力を見せたいという思いで、募金活動も行っております。災害に遭われた皆様方の一日も早い復旧・復興を願っております。

本大会の開催にあたり、鹿児島県、鹿児島市をはじめ、関係省庁・関係機関におかれましては、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

全国中小企業団体中央会は47都道府県中央会とともに、全国の中小企業組合等とのネットワークを活かし、中小企業・小規模事業者の生産性の向上、取引交渉力の強化、人材の確保・育成、国内外への販路開拓などを支援し、事業の持続的な発展を図るために努力を続けています。

しかしながら、中小企業・小規模事業者の景況は、深刻な人手不足や、10月から引き上げられた消費税への対応に加え、働き方改革への対応、社会保険料の負担増等の課題が山積し、景気回復の恩恵を依然として実感できる状況には至っておりません。

こうした中、今年は中小企業等協同組合法施行70周年、中小企業団体の組織に関する法律施行60周年の節目の年となっております。全国中央会では、「つながる ひろがる 連携の架け橋」のスローガンのもと、企業同士、組合同士の「つながる力」を一層強化し、生産性向上に向けた支援を積極的に展開していく所存であります。

第71回中小企業団体全国大会にご参集いただいた皆様におかれましては、今大会を契機に全国の約2万8千の会員組合との強い絆と連携を再確認され大会決議の実現に向けた原動力となりますよう祈念いたしますとともに、全力で取り組んでいくことをお約束し、主催者挨拶といたします。



## ■主催者挨拶



### 鹿児島県中小企業団体中央会 会長 小正芳史

本日、各省庁の皆様、政党代表の皆様等、多くのご来賓の皆様にご出席いただき、また、全国各地から中小企業団体の代表者等、約3,000名の皆様お迎えし、「令和」初めてとなる「第71回中小企業団体全国大会」を盛大に開催できることは、誠に光栄であり、開催地会長として心から歓迎申し上げます。

本日は、台風や集中豪雨等で被災された地域の皆様も多数お越しいただいておりますが、多くの尊い命が失われたことに、深い哀悼の意を捧げますとともに、一日も早く生活や事業の基盤が回復されますよう、衷心よりお祈り申し上げます。

また、先日の首里城の焼失については大変悲しい出来事であり、一日も早い復興を願っております。特に、政府をはじめとする関係機関の皆様方には、被災した中小企業者に寄り添った、きめ細かな支援をお願い申し上げる次第です。

さて、鹿児島県は、南北600キロの広大な県土を有し、多彩な自然や温暖な気候に恵まれ、豊かな「食」と温泉等の豊かな自然を目的に、年間を通じ国内外より多くの観光客をお迎えしています。本日、ご参加の皆様におかれましても、お時間の許す限り、鹿児島の魅力を堪能されますよう願っております。

ところで、昨今の中小企業を取り巻く経営環境は、慢性化する人材不足、消費増税や働き方改革、国際問題への対応など、数多くの課題を抱えております。

こうした中、地域経済の中心である中小企業者にとって、新時代「令和」が夢と希望の幕開けとなるためには、今一度「相互扶助」の精神に立ち還り、組織の力で課題解決に取り組むことが大切です。

昨年は大河ドラマ「西郷どん」が放映されましたが、近代日本の礎を構築し、明治維新の立役者である西郷隆盛は、没後140年が経過した今なお、県内外の多くの経営者が尊敬の念を抱いているところです。

我が国は、明治維新によって近代化へ大きく前進しました。

明治維新の原動力となった薩摩、その息吹を新たな時代への挑戦になぞらえ、「新時代の幕開け 団結でひらく 組合の未来～時空を超えて 舞台は鹿児島から～」を大会テーマとさせていただきました。

本日の鹿児島での大会を契機に、組合等の連携組織を一層活用し、持続的な成長や豊かな地域社会が創造されますことを願って止みません。

結びに、本大会の開催に当たり、関係省庁・関係機関をはじめ、鹿児島県、鹿児島市、都道府県中小企業団体中央会等より賜りましたご支援・ご協力に心より感謝申し上げますとともに、本日ご出席の皆様のご健勝・ご繁栄を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## ■歓迎挨拶

開催地を代表して、鹿児島県・三反園訓知事、鹿児島市・森博幸市長が歓迎挨拶を行いました。



鹿児島県・三反園訓知事



鹿児島市・森博幸市長

## ■来賓祝辞

来賓には国・県・市町村などから多くの皆様がご臨席され、代表して中野洋昌経済産業大臣政務官、土屋喜久厚生労働省大臣官房審議官、道野英司農林水産省大臣官房審議官、関根正裕商工中金代表取締役社長、全国商工会連合会・森義久会長に来賓祝辞をいただきました。



中野洋昌経済産業大臣政務官



土屋喜久厚生労働省大臣官房審議官



道野英司農林水産省大臣官房審議官



関根正裕商工中金代表取締役社長



全国商工会連合会・森義久会長



## ■議事



写真左から（茨城県中央会・阿部真也会長、本会・小正芳史会長、沖縄県中央会・島袋武会長）

議事では、本会・小正芳史会長が議長、沖縄県中央会・島袋武会長と茨城県中央会・阿部真也会長が副議長に選任され、進められました。

まず、全国中央会・佐藤哲哉専務理事より、昨年の全国大会決議の経過について報告があったのち、今年度の議案が上程されました。

千葉県中央会・平栄三会長が、「実感ある景気回復と地域を支える中小企業の持続的発展に向けた活力強化」について意見発表を行いました。

### 【意見発表の内容】

8月の九州北部地方の豪雨、台風15号、19号、21号により、被災された方々に対しまして、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

今大会の決議は、全国2万8千の中小企業組合の皆様から寄せられた総意を取りまとめたものです。我々中小企業が、組合等による“つながる力”を大いに發揮し、持続的な成長を実現するために、国や地方公共団体等に対して、各要望の早期実現を強く求めるものであります。

「災害対策の拡充」、「中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充」、「中小企業組合・中央会等に対する支援の強化」のほか、大会決議にあります多種多彩な要望項目はすべて重要であり、その実現を強く望むものであります。

来年は、オリンピック・パラリンピック開催を控えており、我が国は、まさに大きな歴史の転換期を迎えます。

新たな時代を迎えるにあたって、我々中小企業は、組合の“つながる力”を最大限に活用し、地域の経済・雇用の担い手として、自らの経営基盤を強化し、持続的に成長することをお誓いいたしますとともに、ご臨席いただきましたご来賓の皆様には、より一層のお力添えをお願い申し上げる次第です。



千葉中央会・平栄三会長

その後、上程された大会決議案は、満場一致をもって採択されました。  
(大会決議の内容はP12~24に掲載しています。)

## ■大会宣言



大会宣言を行う本会・岩重昌勝副会長

本大会の意義を内外に表明するため、本会の岩重昌勝副会長が「大会宣言」を高らかに宣しました。

### 【大会宣言】

宣　言

本日、中小企業団体の代表三千名は、「新時代の幕開け 団結でひらく組合の未来」時空を超えて舞台は鹿児島から』をテーマに、ここ鹿児島県鹿児島市に集い、約三万の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議した。

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、深刻化する人手不足、事業承継問題、最低賃金の引上げによる人件費コストの増加、働き方改革への対応、消費税率引上げと複数税率対応など、課題が山積している状況にある。

このような状況の中、中小企業の生産性向上が急務であり、そのためには、個々の自助努力に加えて、中小企業組合をはじめ共同化、協業化、事業統合など企業間の連携強化が重要になる。

我々は、次のスローガンのもと、国等に対して、本大会の各決議事項の早期実現を強く求めるものである。

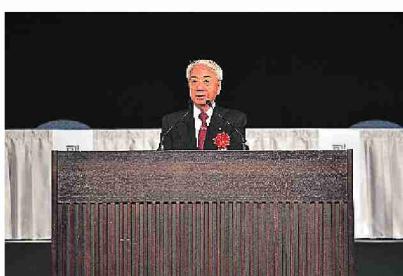
一、生産性向上・ものづくり対策の強化  
一、消費税対策と事業承継施策の強化  
一、労働・雇用・社会保険料対策の推進  
一、まちづくりの推進と商業・サービス業対策の拡充  
一、震災復興・豪雨・風水害等対策の拡充  
一、中小企業組合等連携組織対策の拡充

本日参集した我々一同は、新たな令和の時代を切り拓くべく、積極果敢に行動することを決意する。

右宣言する。

令和元年十一月七日  
第七十一回中小企業団体全国大会

大会決議・意見発表・大会宣言に対し、政党代表として尾辻秀久・自民党参議院議員、新妻秀規・公明党参議院議員、野田国義・立憲民主党参議院議員からご挨拶をいただきました。



尾辻秀久・自民党参議院議員



新妻秀規・公明党参議院議員



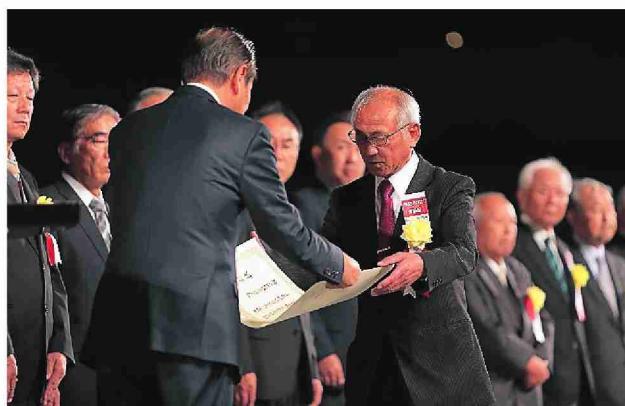
野田国義・立憲民主党参議院議員



## ■表 彰

表彰式では、優良組合34組合、組合功労者86名、中央会優秀事務局専従者22名の表彰を行い、本県からは組合功労者として鹿児島県木材協同組合連合会・柴立鉄彦会長及び鹿児島県書店商業組合・楠田哲久理事長が表彰されました。

栄えある受賞を心からお慶び申し上げます



優良組合表彰



鹿児島県木材（協連）  
柴立鉄彦会長



鹿児島県書店（商）  
楠田哲久理事長



組合功労者表彰



中央会優秀事務局専従者表彰

## ■大会旗継承

第72回中小企業団体全国大会は、茨城県において開催することを発表し、全国中央会・森洋会長から茨城県中央会・阿部真也会長へ大会旗の継承を行いました。

茨城県中央会・阿部真也会長は、「来年は茨城県で初めての中小企業団体全国大会の開催です。会員一同、一生懸命準備をしておりますのでどうぞ茨城県までお越しください。」と挨拶を行いました。

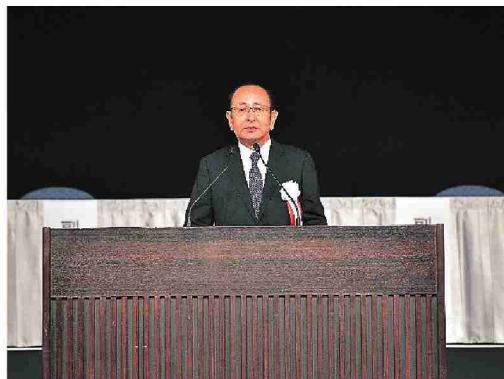
### ■第72回中小企業団体全国大会

日程：令和2年10月22日（木）

会場：茨城県水戸市「ザ・ヒロサワ・シティ会館」



大会旗の継承



茨城県中央会・阿部真也会長

最後に、中小企業基盤整備機構・豊永厚志理事長の掛け声で万歳三唱を行い、第71回中小企業団体全国大会を閉会いたしました。



中小企業基盤整備機構・豊永厚志理事長



万歳三唱

この度の第71回中小企業団体全国大会の開催に当たりましては、県内外多数の組合の皆様方にご参加・ご協賛を賜りました。  
誠にありがとうございました。



## ■特産品展示・販売飲食コーナー

会場には、全国各地から集まる中小企業関係者の皆様に楽しんでいただけるよう、「特産品展示・販売飲食コーナー」を設置し、鹿児島の魅力あふれる特産品を取り揃えました。

焼酎や大島紬といった鹿児島を代表する様々な特産品を取り扱う組合や企業などが31ブース出店したほか、本県中央会女性部会（田島直美会長）による奄美鶏飯のふるまいが行われ、来場者を温かくおもてなしました。



◀本県中央会女性部会による鶏飯ふるまい、首里城復興・自然災害支援募金活動

### 【出展者一覧】

①(株)奄美大島開運酒造	⑫本場大島紬織物協同組合	㉓藤安釀造株
②町田酒造株	⑬鹿児島県蒲鉾協同組合	㉔キンコー醤油株
③岩崎産業株	⑭鹿児島県漬物商工業協同組合	㉕有三宝創建
④(株)下堂園	⑮種子島沖ヶ浜田黒糖生産協同組合	㉖有本家文旦堂
⑤小正釀造株	⑯事業協同組合薩摩川内市企業連携協議会	㉗(貸)藤本釀造店
⑥田苑酒造株	⑰有かわの製粉	㉘(株)マルイケ
⑦渕上印刷株	⑱吉田珈琲(グランパイス株)	㉙有九面屋
⑧有酒元水産加工所	⑲坂元釀造株	㉚富士屋製菓(有)
⑨(公社)鹿児島県特産品協会	㉑三和物産株	㉛有カワノソリ身店
⑩さつまいも産業振興協同組合	㉒有鹿児島ますや	
⑪鹿児島県絹織物工業組合	㉓かじはらプリン株	

### 【トピックス】

全国大会の開催にあたり、様々な団体の皆様にご協力をいただきました。

鹿児島の繁華街である天文館文化通りには、鹿児島市社交業組合による「焼酎ふるまいコーナー」が設置され、鹿児島が一体となって全国の皆様をお迎えいたしました。



## ■全国大会フォトギャラリー





## ■大会決議

### 第71回中小企業団体全国大会決議【概要】

全国中小企業団体中央会

#### 背景・目的

- 中小企業・小規模事業者が直面する多様な課題に前向きに対応していくためには、個々の自助努力だけでは限界があるため、中小企業組合をはじめとする連携組織での取組みが重要である。
- 組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに發揮して、中小企業・小規模事業者が協同することで足らざる経営資源を補完・補強し合えるよう、より一層提案力を高め、伴走型の支援活動の展開により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者の力強い成長と発展を支援していく。

#### I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充

- |   |  |  |
|---|--|--|
| 1.持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化<br>・中小企業・小規模事業者対策予算の拡充<br>・消費税率引き上げ対策 | 3.地方創生推進に向けた対策の強化<br>・地方創生交付金の拡充及び恒久化  | 5.中小企業組合・中央会に対する支援の拡充<br>・中央会に対する予算措置の拡充・強化<br>・地場産業及び伝統的工芸品組合支援策の拡充<br>・創業支援策の拡充、企業組合活用支援策等の改善・強化 |
| 2.生産性向上に向けた人材育成の強化<br>・生産性向上に向けた人材育成支援拡充<br>・中央会指導員の人材育成予算拡充  | 4.事業承継・後継者育成支援策の拡充と組合支援措置の強化<br>・事業承継支援策の拡充<br>・中小企業組合を活用した後継者育成・事業承継支援措置の創設 |  |

#### II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

- 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮
- 中小企業の人材確保・定着対策
- 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定
- 外国人技能実習制度の円滑化拡充
- 外国人材の受け入れ体制の整備
- 雇用保険制度の見直し
- 障害者雇用への中小企業支援策の拡充
- 国による職業訓練機能の拡充・強化
- 社会保険制度等の整備

#### III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

- 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、豪雨・風水害等に対する復旧・復興の更なる推進
- 福島の復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施
- 地域の防災・減災対策の強化・推進

#### IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

- |  |   |   |
|--|---|---|
| 1.中小企業金融施策の拡充<br>・中小企業の資金繰りの円滑化<br>・成長戦略を実現するための金融支援の実施                              | 3.中小製造業等の持続的発展の推進<br>・ものづくり補助金の継続や革新的技術導入の支援強化<br>・公設試験研究機関への技術開発支援機器の導入支援の拡充<br>・知的財産の保護と活用支援の強化<br>・下請法の改正かつ迅速な運用 | 5.卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充<br>・卸売・小売業に対する支援の拡充<br>・機能的なまちづくりの推進<br>・商店街等の中心市街地活性化に向けた支援の拡充                               |
| 2.中小企業・組合税制の拡充<br>・中小企業・組合関係税制の強化<br>・事業承継税制の拡充<br>・消費税率の継続・強化<br>・事業者の税負担軽減措置の継続・強化 | 4.エネルギー・環境対応への支援の拡充<br>・電力等エネルギーの安定供給の実現<br>・省エネ・新エネ支援の拡充<br>・環境対応への支援の拡充   | 6.サービス業支援の強化・拡充<br>・広域的な観光戦略の構築に対する支援と環境整備の強化<br>・住宅宿泊事業法の適正運用の強化と震災対策支援の拡充<br>・先端テクノロジー活用・調査に対する支援<br>・流通業・物流業の適正取引推進と物流効率化支援の拡充 |
| 7.官公需対策の強力な推進<br>・中小企業と官公需連絡組合への受注機会の拡大  | 8.海外展開に対する支援の拡充<br>・海外市場への販路開拓支援の拡充   | 9.公正かつ自由な競争の確保<br>・優越的地位の濫用に係る独禁法の執行強化<br>・改正独禁法の施行に向けた明確な制度設計  |

## 第71回中小企業団体全国大会決議

我が国経済は、緩やかに景気回復が続いているとされているが、地域の雇用を支える357万8千の中小企業・小規模事業者の多くは、その実感を得られていない。

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、深刻化する人手不足、事業承継問題、最低賃金の引上げによる人件費コストの増加、働き方改革への対応と、消費税率引上げと複数税率対応、生産性向上の実現に向けた取組みなど、課題が山積している状況にある。そして毎年のように頻発する自然災害等に対する復旧・復興等の被災事業者の負担は大きく、一層厳しさを増している。

加えて、国際情勢では米中の貿易摩擦による受注減少、日韓関係悪化によるインバウンド需要の減少等の影響も相俟って、先行き不透明な状況となっている。

このような状況の中で、中小企業・小規模事業者が直面する多様な課題に前向きに対応していくためには、個々の自助努力だけでは限界があるため、中小企業組合をはじめとする連携組織での取組みが重要になる。

中小企業団体中央会は、全国約3万組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮させて、中小企業・小規模事業者が協同で足らざる経営資源を補完・補強し合えるよう、より一層提案力を高め、伴走型の支援活動を展開することにより、生産性向上等による我が国経済及び中小企業・小規模事業者の力強い成長と発展を支援していく。

国等は、中小企業・小規模事業者の持続的な成長と豊かな地域社会が実現するよう、全国の会員組合等からの意見を踏まえた本決議事項の実現に取り組まれたい。

### I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上支援等の拡充

#### 1. 中小企業・小規模事業者の持続的な成長と生産性向上に向けた対策の強化

(1) 中小企業・小規模事業者の持続的な成長に向けた切れ目のない景気対策を強力に実行すること。

また、生産性の向上、経営力の強化、IoT導入やビッグデータの活用等の第4次産業革命への支援を加速化させ、持続的な成長の実現に向けた中小企業・小規模事業者対策予算の拡充を図ること。

(2) 消費税率引上げによる消費喚起のための対策を適時講じること。

(3) 消費税率引上げ後も中小企業・小規模事業者が適正な価格転嫁を円滑に進められるよう引き続き万全な対策を講じること。

(4) 支援策の周知・広報については、関係省庁が連携し、統一的かつ効率的に行うこと。

(5) 補助金申請に係る認定支援機関の支援の充実を図ること。



また、補助金申請に係る事務手続きを簡素化すること。

## 2. 生産性向上に向けた人材育成の強化

- (1) 中小企業・小規模事業者の生産性の向上に向けた人材育成を支援するための施策を拡充すること。
- (2) 中小企業・小規模事業者における専門的なITスキルを習得できるような人材育成研修・教育の充実などに対する支援を強化すること。  
また、生産性向上IT導入支援事業（IT導入補助金）の継続・拡充等、IT化支援体制の強化を図ること。
- (3) 中央会指導員の資質をさらに向上させるための人材育成予算を拡充すること。

## 3. 地方創生推進に向けた対策の強化

- (1) 地方創生交付金の拡充及び恒久化を図るとともに国の負担割合を増やすこと。
- (2) 国と地方自治体は有機的連携を図り、魅力的な地域を創出するためのきめ細かな対策を講じること。
- (3) 地域資源活用の促進等に向けた事業計画遂行のための伴走型支援等の措置を強化すること。

## 4. 事業承継・後継者育成等への支援策の拡充と組合支援措置の強化

- (1) 次世代への円滑な事業承継を行えるよう支援策を新規・拡充するとともに、第三者事業承継税制の創設や事業承継補助金の継続を図ること。
- (2) 中小企業組合による面的な事業承継支援を行うため、中央会支援体制強化及び予算措置を講じること。
- (3) 中小企業組合を活用した後継者育成・事業承継等の支援措置を創設すること。

## 5. 中小企業組合・中央会に対する支援の拡充

- (1) 国及び都道府県は、中小企業連携組織を育成・支援するため、中央会に対する中小企業連携組織対策予算を大幅に拡充・強化すること。
- (2) 創業支援の拡充を図ること。また、地域の創業・雇用創出につながる企業組合への支援策等の改善・強化を図ること。
- (3) 地場産業及び伝統的工芸品関連組合に対する支援策を拡充すること。
- (4) 「小規模企業振興基本法」に基づき、中央会・中小企業組合の支援強化を図ること。
- (5) 中小企業組合の力が十分発揮できるよう、中小企業組合制度の見直しや運用の弾力化を図ること。
- (6) 中小企業組合士に対する支援を強化するとともに、積極的に活用すること。

## II. 中小企業の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進

### 1. 働き方改革の実現に向けた中小企業への配慮

- (1) 本年4月より順次施行されている働き方改革関連法の内容について中小企業への懇切丁寧な周知と働き方改革推進支援センター等の相談体制の拡充を図ること。
- (2) 自動車運転の業務、建設業等については、改正法施行5年後に時間外労働の上限規制が適用されることとなることから、中小企業における労働時間の動向、人材確保の状況、取引条件の実態等を踏まえた中小企業団体等に対する支援を行うこと。
- (3) 令和5年に施行される月60時間を超える時間外労働に係る割増賃金率(50%以上)への中小企業に対する支援策を拡充すること。
- (4) 発注側の働き方改革推進により、中小企業側が長時間労働になる等のしわ寄せが生じないよう、国は啓発・指導・監視を徹底すること。

### 2. 中小企業の人材確保・定着対策

- (1) 建設業、運輸業、小売業、サービス業等人手不足業界に対する積極的な就労支援策を強化すること。
- (2) 若年者の人材確保・定着支援及び中高齢者、就職氷河期世代の求職者が中小企業に就職する場合の事業主に対する支援を拡充すること。
- (3) 女性・高齢者等の就業支援策を拡充・強化すること。
- (4) インターンシップに取り組む中小企業への支援策の強化すること。
- (5) 地方の中小企業の人材確保を推進するため、U・I・Jターン等の促進・支援策を拡充すること。
- (6) 中小企業が組合等を活用して共同で設置する保育施設に対する助成・支援を大幅に拡充すること。

### 3. 地域の実情を踏まえた最低賃金の設定

- (1) 標準生計費など地域間の差異が生じている現状下、最低賃金の全国一律化は時期尚早であり、反対である。中小企業の支払い能力を超えた最低賃金額の大幅な上昇をさせないこと。
- (2) 最低賃金の目安額は、その決定に当たって、法の原則及び目安制度を基にし、地域の経済情勢、雇用動向、中小企業の生産性向上の進展状況を検証した上で設定すること。
- (3) 最低賃金引上げにより影響を受ける中小企業に対し、生産性向上に向けた支援策を拡充すること。
- (4) 特定最低賃金は、地域別最低賃金に屋上屋を架するものであり、早急に廃止すること。

### 4. 外国人技能実習制度の円滑化と拡充

- (1) 外国人技能実習機構は、監理団体の許可、技能実習実施計画の認定が円滑に行われるよう体制整備を図るとともに、より一層、事務手続きの簡素化、迅速化を図ること。
- (2) 技能実習2号移行対象職種の拡充に当たっては、業界のニーズ等を把握し、検定試験制度の



創設等の支援を講じること。

## 5. 外国人材の受入れ

- (1) 新たな在留資格である「特定技能」による外国人材の受入れに当たっては、受け入れる中小企業において外国人材が活躍できる環境整備を行うこと。
- (2) 受入れ対象分野における円滑な試験を実施すること。

## 6. 雇用保険制度の見直し

- (1) 雇用保険二事業については、引き続き関係コストの削減をはじめ、各種助成金の見直しを図るなどして、事業費管理の徹底と見直しを行うこと。
- (2) 雇用保険料率については、令和2年度の見直しに向け、雇用保険積立金の状況を見て更なる引下げを検討するとともに、国庫負担については、本則に規定する4分の1へ復帰させること。

## 7. 障害者雇用への中小企業支援策の拡充

障害者を積極的に雇用する中小企業、今後新たに障害者雇用を計画している中小企業に対して、助成制度や金融・税制面での優遇措置等を拡充すること。

## 8. 国による職業訓練機能の拡充・強化

- (1) 人手不足の対策として、中小企業で働く従業員一人一人の能力向上が重要であることから、国等による職業訓練機能の拡充・強化を推進すること。
- (2) 地域産業を支えるものづくり中小企業の技能者の養成、中小企業の技術・技能の支援を行うため技能検定制度の見直し、拡充を推進すること。

## 9. 社会保険制度等の整備

- (1) 社会保険制度の整備に当たっては、中小企業の経営実態等に配慮し、事業主に対する社会保険料負担がこれ以上過度にならないようにすること。
- (2) 短時間労働者や個人事業主への社会保険の適用拡大は、パート労働者を多く雇用している中小企業の雇用コストに大きな負担を強いることから、適用範囲の見直しには慎重を期すこと。
- (3) 全国健康保険協会（協会けんぽ）の保険料率の安易な引上げは行わないこと。また、協会けんぽへの国庫補助率を20%に引き上げるとともに、公費負担の在り方及び高齢者医療制度の抜本的な見直しを行うこと。

## III. 震災復旧・復興支援、豪雨等による災害対策の拡充

### 1. 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、豪雨災害等に対する復旧・復興の更なる推進・加速化

- (1) 復旧・復興対策の十分かつ柔軟な財政及び税制措置を講じるとともに、被災地の復興段階に

応じた復興支援ニーズに柔軟かつ迅速に対応し、復興後の経済発展を見据え必要な予算を継続して措置すること。

- (2) 中小企業組合等共同施設等災害復旧事業（中小企業等グループ補助金）を継続するとともに中小企業・小規模事業者の事情に配慮した迅速かつ弾力的な運用拡充・強化を図ること。
- (3) 被災事業者に対する貸付条件の緩和や手続きの簡素化、借入金の返済猶予など、資金調達の円滑化に向けてあらゆる方策を継続すること。
- (4) 復旧・復興工事に係る建設資材価格や人件費等の設定単価変更については、実勢価格に応じ、機動的に見直すこと。
- (5) 復旧・復興工事については、地域中小企業・小規模事業者への優先的な発注に努めるとともに、復旧・復興工事を効率的に進められるよう、中小企業組合等の組織化を奨励し、組合への一括発注について配慮すること。
- (6) 販路開拓支援などの風評被害対策は、被災事業者のニーズに応じて継続的に支援し、風化防止に努めること。
- (7) 次代を担う成長産業となる国際リニアコライダーの早期の誘致を図ること。

## 2. 福島の復興・創生に向けたきめ細かな対策の実施

- (1) 原発事故の完全収束に向けた確実な廃炉作業を実施すること。
- (2) 中間貯蔵施設の整備及び除染廃棄物搬入対策の加速化、原発事故による汚染水処理の早急な対応、除染対策の徹底を図ること。
- (3) 国は、放射能に関する正しい知識の普及や安全性などの情報発信にとどまらず、県産品の販路拡大を促進する取組みに対する支援策を強化すること。
- (4) 被災中小企業・小規模事業者の事業再建等の自立に向け、安心して経済活動を行えるよう最大限の支援策を講じること。
- (5) 営業損害の一括賠償後の損害賠償の迅速かつ適切な実施に向けたきめ細かな対策を実施するとともに、原発事故損害賠償制度のさらなる周知を行うこと。

## 3. 地域の防災・減災対策の強化推進

- (1) 中小企業・小規模事業者や中小企業組合及び組合間が取り組むB C Pの策定・運用に対する支援措置をより一層推進すること。
- (2) 中小企業強靭化法に基づく連携型事業継続力強化計画の認定後の支援策を強化すること。

## IV. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

### 【中小企業金融施策の拡充】

#### 1. 中小企業の資金調達の円滑化

- (1) 中小企業の多様なニーズに沿った各種金融支援策の維持・拡充を図るとともに、サポート体制の強化及び経済情勢に合わせた柔軟な金融支援を講じること。特に、被災地域への総合的な



支援に加えて、エネルギー価格・原材料価格の高止まりや人手不足等に伴う人件費高騰等の影響を受けた中小企業・小規模事業者に対する資金繰り支援や、生産性向上や新規事業展開のための設備投資、新たな活力を生み出す創業資金支援等の資金需要に引き続き万全の措置を講じること。

- (2) 信用保証協会の基金補助金を十分確保し、中小企業・小規模事業者の経営安定化を図るセーフティネット保証を最大限活用すること。対象業種の拡充、貸付枠の拡大、すべての返済履歴を考慮した保証料率の引き下げ等の優遇措置を講じること。
- (3) 中小企業・小規模事業者の経営改善計画策定を支援するなど、認定支援機関・金融機関によるコンサルティング機能をより一層発揮することで中小企業が長期的に存続するためのニーズへの対応強化を講じること。また、自治体の損失補償付制度融資等における求償権放棄に向けた働きかけを一層強化し、中小企業の円滑な再生への取組みを継続すること。
- (4) 商工中金は常に中小企業金融を支える重要な役割を果たしてきており、中小企業者にとって必要不可欠な存在である。中期経営計画「商工中金経営改革プログラム」に沿った取り組みを推進し、円滑な資金供給に加え、経営上の課題に直面している中小企業・小規模事業者や中小企業組合に対して、単なる融資に止まらない親身かつ前向きな支援が安定的に行われるような組織・機能を維持し、必要な措置を講じること。
- (5) 日本政策金融公庫の公的金融機関としての役割が引き続き的確に発揮されるよう、十分な措置を講じること。
- (6) 協同組織金融機関である信用組合の地域金融機能を堅持すること。特にゆうちょ銀行の業務拡大が、小規模事業者等への円滑な資金供給等に支障を生じさせないよう、慎重に対応すること。
- (7) 高度化融資制度の活用拡大を図ること。既存融資については、条件変更等に柔軟に対応するほか、利用手続きの簡略化などの利便性向上を行うこと。新規融資については、借換えや防災資金等に対する新たな制度や、都道府県の財政負担のない中小企業基盤整備機構自らが融資する制度等を創設すること。集団化実施要件をすべての市町において5人以上と緩和すること。沿岸地域に立地する中小企業者がB C P 対策として内陸部に移転する際に活用されること。  
個人保証については、「経営者保証に関するガイドライン」に基づき、弹力的に運用すること。
- (8) 中小企業倒産防止共済金の貸付を受けた者に対する貸付時の共済金額の10分の1控除を廃止し、共済加入者の負担を軽減すること。また、共済加入後6カ月末満の貸付制限を見直し、突発的な取引先の倒産にも万全なサポートを行う制度とすること。
- (9) 中小企業・小規模事業者の事業承継を円滑に支援するため、十分な金融支援策を講じること。

## 2. 成長戦略を実現するための金融支援の実施

- (1) 経営者の個人保証に過度に依存しない融資慣行をより一層推進するよう、引き続き各金融機関・信用保証協会に対して、「経営者保証に関するガイドライン」の遵守を促すこと。
- (2) 信用保証協会について、中小企業支援機関との連携を強化するとともに、審査の弾力化、審

査期間の短縮や迅速な手続き、事務の簡略化、各種保証制度のPRの拡充等を図ること。

- (3) 地域金融機関が中小企業・小規模事業者の事業価値を見極める「目利き能力」を高めることで事業性を評価する融資を推進し、地域密着型金融への取組みを積極的に展開すること。
- (4) 特許・商標等知財の活用を切り口とした知財融資の普及を進めるとともに、政府系金融機関による低金利・無担保貸付等の融資制度を創設すること。

## 【中小企業・組合税制の拡充】

### 1. 中小企業の活力を維持するための税制の強化

- (1) 中小企業・小規模事業者及び組合が30万円未満の減価償却資産を取得した場合、当該減価償却資産の合計額300万円を限度として全額損金算入できる制度を恒久化するとともに、損金算入限度額の上限を拡大すること。
- (2) 中小法人及び協同組合の交際費について、事業活動に関する費用は全額損金算入とし、恒久化すること。
- (3) 中小企業の欠損金の繰越控除の利用を制限しないこと。また、欠損金の繰戻還付制度の適用期限を延長すること。
- (4) 中小法人の法人税の軽減税率について、税率の引下げと適用所得金額の撤廃を行ったうえで、その措置を恒久化すること。
- (5) 外形標準課税の中小企業への適用拡大は絶対に行わないこと。法人事業税の課税の更なる拡大は行わないこと。
- (6) 減価償却制度の定率法を廃止せず、定額法への統一は行わないこと。また、法定耐用年数の大幅な短縮や減価償却制度の簡素化を図ること。
- (7) 留保金課税の中小企業への拡大は行わないこと。
- (8) 青色事業主勤労所得控除制度を創設すること。
- (9) 前向きな設備投資を阻害する償却資産に係る固定資産税を廃止すること。また、事業所税を廃止すること。
- (10) 印紙税を早急に廃止すること。
- (11) ガソリン税の特例税率を廃止すること。
- (12) 生産・製造工程などで使用する軽油に対する軽油引取税の免税措置を恒久化すること。
- (13) 車体課税を抜本的に整理し軽減すること。
- (14) 退職給付引当金や賞与引当金等の損金算入規定を見直すこと。
- (15) 役員給与は原則、全額損金算入とすること。
- (16) 自社利用目的のソフトウェア（無形固定資産）の償却年数を、現行の5年から3年に短縮すること。
- (17) 創業後5年間の法人税・社会保険料・登録免許税等の減免など創業時の中小企業の税制上の負担軽減措置を拡充するとともに、エンジエル税制の適用要件を緩和すること。
- (18) 中小企業が海外展開するために必要な市場開拓、販売促進に係る費用等を税額控除とする措



置を講じること。

- (19) 各種政策的補助金による一時的収入は益金不算入とすること。
- (20) 産業廃棄物税の減免措置を図ること。
- (21) 地球温暖化対策税の使途拡大を行わないこと。

## **2. 事業承継の促進に資する第三者事業承継税制の創設を含む事業承継支援措置の拡充**

- (1) 後継者不在の中小企業について、親族以外の第三者による事業承継を強力に推進する特例措置を創設すること。
- (2) 事業承継を円滑に行うための支援制度をさらに充実させるとともに、事業承継税制を活用するための手続きの簡素化や取引相場のない株式評価方法の見直しなど、事業承継への取組みを促進するための措置を講じること。

## **3. 消費税対策の継続・強化**

- (1) 消費税率の引上げにあたり、景気対策、価格転嫁対策など、中小企業・小規模事業者のために万全の対策を講じること。
- (2) 複数税率及び適格請求書等保存方式（「インボイス方式」）については、廃止を含めた慎重な対応をすること。
- (3) 消費税の外税表示を恒久化すること。
- (4) 個別消費税（ガソリン税、酒税、タバコ税）や印紙税に係る消費税の二重課税は早期に解消すること。
- (5) 消費税の申告については、法人税法及び地方税法同様に「1カ月の申告期限の延長措置」を講じるとともに、法人税及び消費税の納税期間を3カ月に延長すること。また、消費税の中間申告の回数については事業者の任意選択を認めること。
- (6) 中小事業者の消費税の事業者免税点を引上げ、簡易課税制度の適用事業者の範囲を拡大すること。

## **4. 地域の活性化に資する中小企業の負担軽減**

- (1) 商業地等の宅地に係る固定資産税の負担調整措置を継続するとともに、地価が下落している場合は固定資産税の評価額に修正を加えることができる特例措置を図ること。
- (2) 輸入原材料価格の安定化を図るため、関税制度の見直しを図るとともに、政府売り渡し価格決定に際しては、中小食品製造業の不利益につながらないよう十分に配慮すること。
- (3) 認定特定民間中心市街地経済活力向上事業計画に基づき不動産を取得又は建築をした際の、所有権の移転登記等に対する登録免許税の軽減措置を延長すること。
- (4) 物流総合効率化法の認定計画に基づき取得した事業用資産に係る特例措置を延長すること。

## **5. 組合関係税制の強化**

- (1) 中小企業組合の法人税の軽減税率について、企業組合、協業組合をも対象とし、税率の引下げと適用所得金額の撤廃を行ったうえで、その措置を恒久化すること。
- (2) 効率的に設備過剰の解消を図るよう、中小企業組合が計画した設備廃棄、設備集約化に対する減免措置を講じること。
- (3) 企業組合において設立後 5 年間法人税を免除するなどの税制措置を講じること。
- (4) 組合員の倒産等により、団地組合が団地内不動産をやむなく一時取得する場合の登録免許税・不動産取得税及び固定資産税について減免措置を講じること。
- (5) 事業協同組合等に対する法人住民税（均等割）について、法人税と同様に一律の軽減税率を適用すること。
- (6) 公共・公益性のある共同施設への固定資産税等の減税措置を図ること。
- (7) 共同施設の借入金償還に係る賦課金と減価償却費との差額への非課税措置を講じること。
- (8) 高度化資金の返済金や高度化資金で建設した施設の修理費等を中小企業組合が積立金に繰り入れたときは、全額損金算入できるようにすること。
- (9) 中小企業組合の事業活動に必要な寄附金について、被災地の組合を支援する組合及び組合員による義援金を寄附金控除対象とすること。

## 6. 納税環境整備等

- (1) 税法上の中小企業の基準の見直しを行う場合には、明確性を維持しつつ実態を踏まえた検討を行い、中小企業基本法の定義と同様に、資本金 1 億円以下から 3 億円以下へと拡大すること。
- (2) マイナンバー制度の導入に伴い、安全管理措置に必要となるセキュリティ対策への支援措置を強化すること。

### 【中小製造業等の持続的発展の推進】

#### 1. 中小企業・小規模事業者のものづくりや革新的技術導入の支援強化

- (1) ものづくり補助金を継続すること。また、申請書類の簡素化、補助金額及び補助率の引上げ等、制度設計の見直しを行うこと。
- (2) 過年度にものづくり補助金事業を実施してきた事業者の販路開拓、販売促進を図るためのフォローアップ事業に対する支援の更なる拡充・強化を図ること。
- (3) 中小企業・小規模事業者が I O T をはじめとした新しい I T 技術の導入・活用に取り組むための支援策を拡充・強化すること。
- (4) ものづくり分野における人材の確保と次代を担う若手人材の育成を図る施策を継続して強化すること。

#### 2. 公設試験研究機関への最新機器導入及び更新に対する支援の強化・拡充

#### 3. 知的財産の係争費用に対する補助など中小製造業等の知的財産活動に対する支援の拡充



#### 4. 下請法の厳正かつ迅速な運用

- (1) 取引上優位な立場の親事業者が下請事業者に対して、買いたたきなど一方的に有利な取引条件を強要することのないよう、下請代金支払遅延等防止法等の違反行為に対して厳正かつ迅速に対処すること。
- (2) 「下請適正取引等の推進のためのガイドライン」の更なる業種拡大、検証、周知徹底を強力に推進すること。
- (3) サプライチェーン全体の取引適正化と付加価値向上に向けた「自主行動計画」の策定業種の拡充を図るとともに、同ガイドライン及び同計画の着実な実行と周知徹底、フォローアップ、訪問等調査を強化すること。

### 【エネルギー・環境対応への支援の拡充】

#### 1. 電力の安定かつ安価な供給の実現

- (1) 電力コストの負担軽減に必要な対策を講じ、安価かつ安定供給の確保に向けた取組みに対する支援策を講じること。
- (2) エネルギー安定供給のためのエネルギーミックス対策を講じること。
- (3) 再生可能エネルギー発電促進賦課金減免制度の上昇抑制を図ること。

#### 2. 省エネ・新エネ支援の拡充

- (1) 省エネ設備の導入、再生可能エネルギー等の活用など徹底した省エネ・新エネ対策を大胆に実施すること。
- (2) 中小企業・小規模事業者における省エネルギーの推進を図るため、エネルギー使用合理化等事業者支援事業などの助成金の拡充・強化を図ること。
- (3) 中小企業組合における省エネ設備導入を加速させるため、省エネルギー補助制度を強化・拡充すること。

#### 3. 環境対応への支援の拡充

- (1) 中小企業・小規模事業者における環境マネジメントシステムを推進するため、「エコアクション21」の普及を図る取得支援、優遇措置などの施策を講じること。
- (2) 持続可能な社会の実現のため、廃棄物処理の推進につながるなど適正な体制整備が図れる支援策を強化・拡充すること。
- (3) 土壤汚染対策における調査・手続き・除去等の措置については、必要最低限のものとなるよう見直しを行い、中小企業・小規模事業者にとって過度な負担とならないよう万全の支援策を講じること。
- (4) H A C C Pに基づく衛生管理の導入にあたり、改正食品衛生法の概要等について周知を徹底するなど円滑に取組むための支援を講じること。

### **【卸売・小売業・まちづくりの推進、中心市街地活性化に対する支援の拡充】**

- (1) 卸売業の振興及び卸団地の老朽化に対する支援策を強化・拡充すること。
- (2) 小売業の振興を目的とした支援策を強化・拡充すること。
- (3) 中心市街地における機能的なまちづくりを推進すること。
- (4) 中心市街地の活性化のための大規模小売店舗等への対応を促進すること。
- (5) 中小専門商業関係予算を強化・拡充すること。
- (6) 商店街におけるにぎわい創出強化のための人材育成・確保策について支援すること。
- (7) 法人格を有する商店街組織に対する優遇措置を講じること。
- (8) インバウンド需要に対する商店街事業への支援を強化すること。

### **【サービス業支援の強化・拡充】**

- (1) 観光を通じて被災地の復興を加速させるため、広域的な観光戦略の構築、長期的な復興を支える重層的な取組に対する支援を強化すること。
- (2) 外国人観光客誘致拡大並びにクルーズ船観光客増加のための環境整備を強化すること。
- (3) 「住宅宿泊事業法」の適正運用の強化に努めること。
- (4) 災害防止の観点から、耐震対策の支援対象の範囲を拡大すること。
- (5) 先端的テクノロジーの活用、導入に係る調査及び実現化の支援に対する新たな事業を創設すること。
- (6) 市街地や商店街等の駐車違反取締りに当たり、積み降ろし業務可能な駐車スペースの確保や円滑な道路交通の有効活用等、業務に配慮した支援を講じること。
- (7) 中小企業・小規模流通業・物流業の適正取引の推進、人材確保、経営改善など、物流効率化のための経営革新への取組みに対する支援措置を拡充すること。
- (8) 地域経済の活性化、農林水産物をはじめとする物流の効率化、観光などの旅客輸送力の強化などに寄与する高速道路網の整備拡大を図ること。
- (9) 高速道路料金の大口・多頻度割引率の適用拡大を行うとともに、割引制度を恒久化すること。
- (10) 平成29年4月から強化された車両制限令に基づき、事業協同組合に一律に科される高速道路の大口・多頻度割引停止措置を見直すこと。

### **【官公需対策の強力な推進】**

- (1) 「中小企業者に関する国等の契約の基本方針」で示された中小企業・小規模事業者向けの契約目標額及び目標率について、執行時期の平準化を図りつつ、必ず目標を上回る契約実績を達成するとともに継続的に安定した中小企業・小規模事業者向け官公需予算を確保すること。
- (2) 地方公共団体を含めた各発注機関に対して官公需適格組合制度の周知を広く図り、官公需適格組合への受注機会の増大に向けた取組みを一層強化すること。
- (3) 予定価格の積算は、最新の実勢価格等を踏まえ、適正な単価設定に努めること。特に、市況の変動が激しい燃料、原材料単価や人材が確保しづらい労務の単価は十分に配慮し、最低賃金



改定に合わせて人件費単価を見直して発注すること。

- (4) 被災地における官公需適格組合等を積極的に活用すること。また、防災協定を締結している組合等に対しては、随意契約などによる優先的な発注に努めること。
- (5) 最低制限価格制度を導入するほか、低入札価格調査制度を積極的かつ適切に運用すること。
- (6) 少額随意契約の意義を広く正確に広報するとともに、その適用限度額の引上げなど少額随意契約制度の見直しを行うこと。
- (7) 各発注機関に対して、分離・分割発注に努めること。
- (8) 建設業界における生産性向上に向けた工事発注制度を改善すること。
- (9) 著作権等の知的財産権が含まれる発注については、当該知的財産権の取扱いを仕様書及び契約書に明確に記載するほか、強制的な権利の譲渡を行わないよう十分に留意すること。
- (10) 低価格競争を助長する競り下げ方式（リバースオークション）は絶対導入しないこと。
- (11) 官公需適格組合における監理技術者等の在籍出向について、組合員の受注機会の確保・増大につながるよう、実態に配慮した要件緩和を行うとともに、実効性の高い制度に見直すこと。
- (12) きめ細かな官公需相談業務に対応するため、「官公需総合相談センター」への予算措置を講じること。
- (13) 電子入札の仕様を統一かつ簡素化すること。

#### 【海外展開に対する支援の拡充】

- (1) 中小企業・小規模事業者の海外展開には大きな費用負担と事前準備等の時間が必要であり、成果をあげるためにには継続的な取組みが必要であるため、支援体制の整備と支援策の強化・拡充を講じること。
- (2) 人材等の活用を通じた海外展開への支援策を引き続き推進すること。

#### 【公正かつ自由な競争の確保】

- (1) 不当廉売、過大な景品表示、差別対価、優越的地位の濫用の未然防止に努め、違反をした事業者には厳正な措置をとること。
- (2) 改正独占禁止法の施行に向けた明確な制度設計を講じること。

## 特集2

### FEATURE



11月6日（水）・7日（木）の2日間、鹿児島市の「鹿児島アリーナ サブアリーナ」において、「ものづくり補助金」採択事業者の新商品や成果を展示する、『令和元年九州・沖縄ものづくり展～未来創造～』を開催しました。

今年度は、第71回中小企業団体全国大会の開催にあわせ、本県の47事業者に加え、九州・沖縄各県の15事業者の展示も行い、計62事業者が補助金を活用した新事業展開や新商品開発等、それぞれの事業成果について紹介しました。

6日は、一般来場者、県内の高校、県内外のバイヤー等が参加、7日は全国大会参加者が多数来場し2日間で延べ約1,500人が展示会に来場しました。

#### ■ものづくり補助金とは

「ものづくり補助金」は、我が国製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げを図り、経済活性化を実現することを目的とした国の補助金で、平成24年度補正においてはじめて予算化されました。その後、製造業のみならず、商業・サービス業の分野にも補助対象が拡大し、鹿児島県においては、これまでの6年間で延べ659社の事業者に、52億円を超える補助金を交付しています。

補助事業者はものづくり補助金を活用して、革新的サービス・試作品開発、生産プロセスの改善を行うための設備投資等の様々な事業に取り組んでいます。

「ものづくり展」は、過年度の「ものづくり補助金」採択事業者の成果を広く内外に発表し、新たなビジネスチャンスへと結びつけるとともに、他の中小企業者へ経営革新の参考とするべく、



鹿児島においては平成27年度から毎年開催しています。

今年度は中小企業団体全国大会の開催に合わせ、その成果を全国の中小企業団体関係者にまで広く知っていただくため、過去最大級の「令和元年九州・沖縄ものづくり展～未来創造～」を開催するに至りました。



小正芳史会長・開会あいさつ

## ■展示商談会

会場内に設置した各事業者のブースでは、ものづくり補助金を活用した新商品や、技術を利用したサンプルなどが展示され、来場者に対しその成果の説明を行いました。

商談ブースでは、県内外の食品関連や機械金属加工関連のバイヤーと出展事業者との商談も積極的に行われました。参加したバイヤーからは「商品について直接対話ができ、試食もできて、よく知ることができた。」「常に新しい商品を探しており、展示会に来場できてよかったです。」といった声が寄せられました。



また、「海外貿易実務・販売促進相談ブース」では、弓場貿易(株)代表取締役 弓場秋信氏を販売専門員として海外への販路開拓に取り組む出展事業者にアドバイスを行い、「販売促進・新商品開発相談ブース」では、e-f プランニング 代表 佐伯栄子氏を販売促進員として主に食品に関する販売促進・新商品開発について出展事業者等の相談に応じました。



海外貿易実務・販売促進相談  
弓場貿易(株) 弓場秋信 氏



販売促進・新商品開発相談  
e-f プランニング 佐伯栄子 氏

# 特集2

【出展事業者一覧】（※出展者詳細はP.40～55に掲載）

## 九州沖縄各県（15ブース）

①アサヒ醸造株式会社 [福岡県]	⑥(有)舞織カーテン [熊本県]	⑪(有)亀山工業 [宮崎県]
②(株)天年堂 [福岡県]	⑦(株)ワコー [熊本県]	⑫(株)サンライフ [宮崎県]
③(株)GGG Forall [福岡県]	⑧(株)川原茶業 [佐賀県]	⑬粕谷製網株式会社 [長崎県]
④(株)巨峰ワイン [福岡県]	⑨ボローニヤマックス株式会社 [佐賀県]	⑭長崎県地域事務局ブース
⑤(有)チョコレートショップ [福岡県]	⑩フンドーキン醤油株式会社 [大分県]	⑮沖縄県地域事務局ブース

## 鹿児島（47ブース 50音順）

①(株)アルプスエステック	⑯(株)シュウエイ	⑳富士屋製菓(有)
②(有)大成畜産	⑰(株)樹楽	㉑(有)古市製茶
③鹿児島ケース株式会社	⑲猩々農園(株)	㉒(有)プロシードサカキ
④鹿児島製茶株式会社	㉓(株)川内建設	㉓(株)堀口園
⑤(有)鹿児島ますや	㉔(株)垂水南	㉔(株)本坊酒造(株)
⑥(株)かしい	㉕東フロコーポレーション(株)	㉕(株)町田酒造(株)
⑦(有)神薗鉄工建設	㉖徳之島物産(株)	㉖(有)マルサ工業
⑧(有)上山自動車	㉗(株)ドリームワンカゴシマ	㉗(有)宮畠工場
⑨キリシマ精工株式会社	㉘中園機工(株)	㉘(株)ヤマグチ(株)
⑩(株)キンコー	㉙(株)南光	㉙(株)ゆいの里
⑪キンコー醤油株式会社	㉚南州農場(株)	㉚協業組合ユニカラー
⑫(株)KOGEN	㉛日本ハードウェア(株)	㉛(株)吉村醸造(株)
⑬(株)コマロック	㉜日高水産加工(有)	㉜(有)六葉煙火
⑭(株)三州園	㉝福山黒酢(株)	㉝(株)Y S フーズ
⑮(有)三昧堂商事	㉞富士エネルギー(株)	㉞(株)和香園
⑯(有)サンワ技研	㉟(株)藤田ワークス	

## ■出展事業者インタビュー

来場者や出展事業者同士の交流・情報交換のため、MBC 南日本放送のタレント・野口たくお氏とアナウンサーが場内をめぐり、出展事業者インタビューを行いました。





## ■販路開拓相談会

各分野から専門家をお招きし、「ものづくり補助金」採択事業者からの技術等の個別相談を行う販路開拓相談会を開催しました。

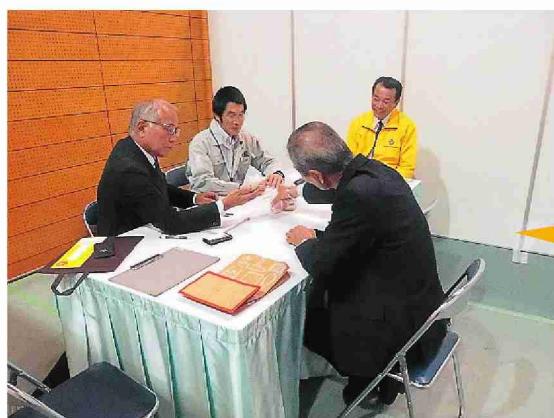
(株) KATAL SEVEN 代表取締役 丈井彰一郎 氏  
デザイン・パッケージング、ネーミング、  
PR 戦略等に対する個別相談



(株) Table of Smile 代表取締役 杉水流直子氏  
新商品開発、食のイベント企画、  
特産品のプロデュース等に対する個別相談



鹿児島県工業技術センター  
技術開発・技術力向上の支援、ものづくり  
の技術的課題の解決等に対する個別相談

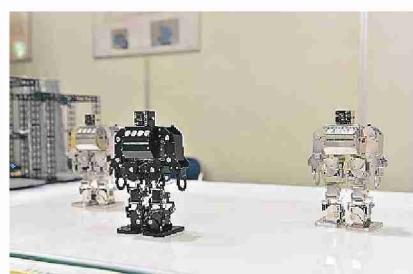


鹿児島県大隅加工技術研究センター  
農産物の加工技術・研究開発、加工品の試  
作・販路拡大の支援等に対する個別相談

鹿児島県水産技術開発センター  
地域特産加工品開発、新たな食品素材の開発等に対する個別相談  
日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センター  
輸出・海外進出の支援、海外での販路開拓・マーケティング等に対する個別相談  
INPIT 鹿児島県知財総合支援窓口  
特許・商標の知的財産等に対する個別相談

# 特集2

## ■フォトギャラリー





## ■講演録①

# 中小企業の事業承継と改革、人材確保・人材育成について～町工場の娘の10年戦争～

講師：ダイヤ精機株式会社 代表取締役社長 諏訪 貴子 氏

## ■ダイヤ精機株式会社

当社は、自動車用のゲージを作っており、ハンドラップという技術で、鉄を1ミクロン単位で磨き上げています。この精度の磨き上げは今でも手作業で行っており、現時点では海外企業はマネできません。おかげで当社の製品は輸出がかなり増えています。

こういった先人たちが築き上げてきた技術を後世へ残していくことが私たちの使命であると考えています。

当社のモットーは「ザ・町工場を目指そう」です。石垣は大きい石と小さい石がそれぞれの役割を全うすることで強固なものになっています。そのように当社も中小企業としての役割を果たすことで日本経済に貢献できるのだと思います。

町工場は、大量生産の大手企業とは真逆の多品種少量生産に対応しなければなりません。限られた資源の中でお客様のニーズにこたえていくためには、知恵が必要です。当社では問題が起きると皆で集まり、一致団結して知恵を出し合いながら解決していきます。

その昔、当社は大手自動車メーカー1社依存の下請け型企業でした。バブル崩壊やリーマンショックで深刻な打撃を受け、何とかしなければと様々な取り組みを行ってきた結果、今では多くのお客様と取引をさせていただいている。

今日は当社の取り組みをいくつかお話ししたいと思います。

## ■ダイヤ精機の創業と諏訪氏の生い立ち

私には姉と兄がありました。兄は幼少時に難病にかかり、父は多額の治療費を工面するために昭和39年、当社を創業しました。当時は高度経済成長期で、「大田区でお金を稼ぎたいならものづくりの世界へ」と言われていたようです。

兄は余命半年と宣告されていましたが、治療の甲斐があり3年ほど長く生きることができたそうです。



### 講師プロフィール

ダイヤ精機株式会社 代表取締役社長 諏訪 貴子 さん

32歳の時、父親の逝去に伴い専業主婦からダイヤ精機の社長に就任。経営再建に着手し、生産効率の向上や若手社員の育成等に意欲的に取り組み、製造業が直面する課題を次々と解決。

メディアにも多数出演しており、中小企業の現状を伝えるほか、NHK ドラマ「マチ工場のオンナ」のモデルにもなっている。

父は次に生まれる子を2代目にすると決めていたようですが、私は女の子でした。それでも父は後継者を諦めきれず、私は男のように育てられ、大学も工学部に進学しました。

就職活動を始めたころバブルがはじけ、就職難の時代がやってきました。父に相談したところ、一部上場メーカー役員秘書の求人を紹介されました。女性らしい職業に憧れていた私は、さっそく試験を受け採用していただきましたが、私が配属されたのは工機部でした。男性ばかりの職場で、女性初のエンジニア採用だったようです。はじめは騙されたと思いましたが、お金もありませんし、しばらく頑張るしかありませんでした。

しかし、たった一人の女性エンジニアなのでとても目立ちます。最初は好奇の目で見られ、やがてその目は「男性と肩を並べて仕事ができるのか」という厳しいものへと変わっていきました。毎日辞めたいと思っていましたが、そんな中でも私を一人のエンジニアとしてしっかり育てようとしてくださった方もいらっしゃいました。機械操作、生産管理、品質管理、設計と学んだこの2年間がなければ今の私は存在していないと思います。

その後、私は結婚し、出産と同時に退社します。私は専業主婦になりましたが、その生活も3日で飽きてしまいました。どうせなら苦手なことを克服したい、人前で堂々としゃべれるようになりたいと、専門学校に通いプロの披露宴司会者になりました。この時の経験が、今日のような講演にも活きてています。

## ■専業主婦から社長へ

やがて父に頼まれ当社を手伝うことになりますが、経営方針の違いから入退社を繰り返します。経営改善のためリストラを提案したのですが、私がリストラされてしまいました。今ならば父の気持ちもよくわかりますので、当時は申し訳なかったなと思います。

2度目の解雇の後、夫のアメリカ転勤が決まり、私も同行することにしました。しかし諸々の準備を終えたところで、父が緊急入院をし、医者から余命3日を宣告されます。

父との別れは、悲しむどころではありませんでした。やらなければならぬことが山ほどあったからです。亡くなった翌日には、銀行の支店長と担当者がやってきて、社長に誰が就任するのかと尋ねられました。

最初は私の夫に白羽の矢が立ちましたが、アメリカ勤務は夫の長年の夢でした。私はその夢を実現させてほしかった。後悔しない道を選んでほしいと、夫の背中を押しました。

それで社員たちに社長になってほしいとお願いしましたが、「全力で支えるから社長になってほしい」と逆に頼まれてしまいました。社員二十数名といっても、いたって普通の主婦が彼らの生活を背負えるのだろうかと、とても悩みました。そんな中、知人にも背中を押され、半ば開き直りの気持ちで、社長に就任することを決断しました。



諏訪氏はエンジニア経験者であり、披露宴司会のプロでもある



## ■社長と経営

私が社長に就任して最初にやったことは、かつて父に提案したリストラの敢行でした。

つらい選択でしたが、取引先や銀行からのプレッシャーがある中で早急に結果を出すためには、どうしても固定費の削減が必要でした。

自分の一言で他人の人生を変えてしまう重責に苛まれ、眠れない夜が続きましたが、彼らはたった一言、「ありがとうございました」とだけ言って会社を去ってくれました。彼らには本当に感謝しています。

しかし胸を撫でおろしたのも束の間、予想外のことが起こります。私のことを全力で支えるといった社員たちが、翌日には全員敵になってしまったのです。彼らは私に社長になってほしいと言いましたが、それは「経営してほしい」という意味ではなく、「象徴として社長の椅子に座ってほしい」という意味でした。

彼らのやり方でも、数年は持たでしょう。しかしその後、彼らはいなくなってしまう。それから新たな経営をしていくのはリスクが高すぎます。

何としても彼らがいるうちに、自分の経営を確立する必要があったのです。



著書「町工場の娘」「ザ・町工場」で、当社の経営や自身の想い、葛藤を綴っている。

## ■理念と経営方針、そして改革

そんな中、まずは理念、経営方針を組み立てました。ここは事業承継において最も大切で、最も苦労するところです。私は1年の時間を費やしてしまいました。その時の経験から、理念・経営方針の策定においては「社員たちに分かりやすい言葉で表現する」こと、「本流を外さない」ことの2つがポイントであると思いました。

ちなみに当社では、「ものづくり大田区を代表する企業になる」「超精密加工を得意とする多能工集団」という理念、方針を掲げています。

そして、当社は3年かけて改革を断行していくことになります。製造業では問題が起きたとき、「現場で現物を見て、現実を確かめて原理原則にもとづき対処しなさい」と言われており、これを「5ゲン主義」といいます。原理原則の上に基本があり、基本ができるからこそ応用ができるという考え方です。この時の改革にあたっても、まずは基本の整備から行っていくことにしました。

1年目は挨拶や製造業における5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の意識改革から始めました。職人さんたちなので、机上教育なんて今まで受けたことがありません。時には口論になってしまふこともありましたが、教育と実践を繰り返し、目に見える効果が表れてくると、みんな一生懸命やってくれるようになりました。組織構造も変更し、基本を整えたところで1年目を終えました。

基本が整えば、2年目はどんなことにも挑戦できます。挑戦にあたり、当社の強みを考えました。お客様に聞いて回ったところ、多くの方はトラブルや突発的な事案に対応してくれる対応力だと教えてくれました。技術こそが当社の強みだと思っていた私はとても驚きましたが、お客様の求めていることをより伸ばしていく必要があると考え、主にIT化に取り組みました。PCを扱ったことさえない人間が多く、社員は本当に大変だったと思います。しかしプレゼンと社内展開を繰り返し、徹底的に意識共有を図った結果、彼らはなんと3か月で新システムへの移行をやってのけました。彼らの底力を見た気がしました。

3年目は、モチベーションの維持に重きを置きました。それまでにやったことを振り返り、継続的に改善していくための仕組みづくりを行いました。

そうしているうちに、社員の笑顔が目立つようになり、気持ちが変わってくれたと判断したところで、改革はひとまず終了しました。

改革によって、さまざまな効果がありましたが、一番うれしかったのは、社員旅行の時に彼らが「俺たち社員一同は、社長に一生ついていきます」と宣言してくれたことです。

就任時は全力で支えると言ってくれましたが、これまで大喧嘩を繰り返してきた私たちです。私にとって最高の誉め言葉でした。普通の女性とは違う人生を歩いてきましたが、このときはじめて、「ダイヤ精機の2代目として生まれてよかった」と思いました。

## ■ダイヤ精機の人材確保と育成

技術を後世に残していくためには若手を育成しなければなりませんが、当社は本当に人気がありませんでした。

そこでプロジェクトチームを立ち上げ、パンフレットの作成やHPの改良、求人票の改善を行い、応募者数を伸ばすことができました。

採用の次に問題になるのは定着率です。従来、即戦力が欲しかったので経験者だけを採用していたのですが、定着率は一向に改善しなかったため、未経験者の採用、トライアル制度の利用やインターンシップの受け入れを開始しました。その結果、今は若手のほうが多くなっています。

私は、経営に関しては原理原則に基づき考えるようしていますが、人材育成に関してはそれが通用しません。人それぞれ、全く考え方方が違うからです。

ただ、若者の辞め時はおおよそ1か月、3か月、1年、3年のどれかになります。このような辞め時があるということは、彼らの心境の変化に共通項があるのではないかと考え、哲学や心理学を取り入れて教育プログラムを作りました。具体的には、若手生活相談係の設置、机上教育の実施、私との交換日記などです。



若手の育成には、「心のケア」も重要



特に交換日記は、性格や適性が見えてきます。中小企業には大企業のように新たな能力を見つけ育てる時間はありません。すでに持っている長所を伸ばすほうが効率的です。

また、適性や精神状態に合わせて適切なフォローを行えば、定着率は確実に上がります。

最後には、責任感を持たせ自立を促すために、本人にしかできない技術を習得させます。これは本人が辞めてしまえばその技術が失われますから、とてもリスクが高い行為です。ただ、そこまでしなければ若い子たちと信頼関係を築くことはできないと思っています。

それに、何かで一番であり続けて評価されることの素晴らしさを、私は知ってほしいのです。例えば、当社に入社した女の子は、完成品に字を刻む作業で一番きれいに書けるようになりたいと言いました。当社の製品は鉄製でとても固く、手が痛くなる作業です。でも彼女は1年間練習し続け、本当に社内で一番きれいに刻字できるようになりました。

すると、ベテランの職人たちちは彼女を頼るようになりました。人間、頼られると頼りやすくなります。彼女は先輩たちの技術を吸収し、圧倒的なスピードで成長してきました。

一番になることで、さまざまな効果が得られるのです。

## ■挑戦と成長～後悔のない道を選ぶ～

2009年、リーマンショック発生時。大田区で政府の懇談会が開催されたとき、私も呼んでいただきました。いざ出席してみると偉い方がたくさん出席されていて、壮大なテーマについて議論していました。総理大臣も出席しており、重い空気が流れる中、私が発言する余地はありませんでした。

でも、ただ一つだけ、私には総理に伝えたいことがありました。当時、当社は雇用調整助成金を受けていました。厳しい経済状況の中、中小企業にとっては本当にありがたい制度でした。しかし当時の要件のままだと、翌年、少し業績が改善しただけで助成金をもらえなくなる中小企業がたくさん出てしまうことが予想されました。

この要件の見直しだけは直訴したいと思っていましたが、発言できないまま会議は終了し、総理は帰り支度を始めてしまいました。

その時、私の頭をよぎったのは、社長就任時のことでした。あの時後悔しない道を進むと決めたはずなのに、ここで発言できずに帰ってしまったら、絶対私は後悔する。そう思った瞬間、私は席を立ちあがり、「総理、直訴させてください！」と叫んでいました。

私が突然叫んだので、警備員さんたちに取り押さえられてしまいましたが、総理は私の前まで来て、話を聞いてくださいました。同年末、経済産業省から無事、要件変更の法案が成立したとの連絡をいただきました。

あの時、少しの勇気を振り絞って発言して、本当に良かったと思います。

この国の中小企業支援施策はまだ十分ではないと思っています。でも、我々中小企業も、任せにするのではなく、チャレンジ精神をもって成長していくことが何よりも大事です。

私が社長に就任するか迷っていた時、父が夢枕に立ち、最後の言葉を残しました。

「貴子、ものづくりには終わりがないんだぞ」

私はその言葉を胸に、これからも大田区でのものづくりに挑戦し続けたいと思います。

## ■講演録②

### 稻盛和夫に学ぶ ものづくりへの挑戦

講師：作家 北 康利 氏

「稻盛和夫に学ぶものづくりへの挑戦」と題して、「京セラ」や「第二電電」の創業者である稻盛和夫氏の人生の中から学ぶべきポイントについて、「パナソニック」創業者である松下幸之助氏などのエピソードを交えてお話をいただきましたので、概要を紹介いたします。



#### ■稻盛和夫氏の生い立ち

稻盛和夫氏（以下、稻盛氏）は、1932年に、鹿児島市内を流れる甲突川沿いの鹿児島市薬師町（現・城西）で生まれました。

幼いころは大変やんちゃで、当時、一面田んぼだらけの近所を走り回ったり、甲突川でお兄様とテナガエビを獲ったりしていたそうです。

稻盛氏は鹿児島を大変愛しているそうですが、その理由として、鹿児島人の明るい性格をあげていらっしゃいます。

#### 講師プロフィール

作家 北 康利 氏

1960年生まれ。東京大学法学部卒業後、富士銀行へ入行。その後、富士証券投資戦略部長、みずほ証券財務開発部長等を経て退職し、現在作家としての活動に専念している。

歴史上の人物を取り上げた著書を多数執筆され、第14回山本七平賞を受賞した「白洲次郎占領を背負った男」や「西郷隆盛 命もいらず名もいらず」などの著書のほか、近著に「思い邪なし 京セラ創業者稻森和夫」がある。

また、松下幸之助、吉田茂などの評伝をライワークとしており、歴史に名を刻む人物を取り上げ、現代社会やビジネスシーンで生き抜く術を伝える講演も多数開催されている。





## ■ものづくりと日本人の器用さ・忍耐強さ

日本人とベトナム人は、世界的に大変器用な国民性といわれていますが、2つの国に共通するものに「箸」を使う文化があります。

ものづくりには「器用さ」が必要と言われますが、日本人は全員が幼いころから当たり前のように箸を使うことで器用さが自然と身についており、ものづくりに適した国民性が培われているのです。

この「器用さ」を活用して、多くの日本人が創業しています。

例えば、下着メーカー「ワコール」創業者の塚本幸一氏は、戦後、反物の端切れを買い集めて縫製し、女性の体を綺麗に見せるブラジャーを開発しました。戦時中に、女性ができなかつた「綺麗になる」という夢の実現と、西洋化に向けた下着が必要だと思ったからだそうです。

その縫製は手先の器用な日本人だからできました。「手先が器用である」ということは、我々日本人にとって非常に強いエッジ（特徴）です。

そのおかげもあり、ワコールは今日まで世界のトップブランドであり続けています。



また、物事を極めるためには忍耐力が必要といわれていますが、日本人の忍耐強さは世界でも群を抜いているようです。

日本は、歴史的にも自然災害が数多く起っています。台風、地震、火災、津波等の苦難をはるか昔から繰り返し経験し、復興することで忍耐力を引き継いできました。

災害に遭っても、「なにくそ」という精神で復興に取り組み、災害対策など次の成長に結び付けます。

また、日本人は自然崇拜の国です。自然に人間は敵わないということを知り、自然に対する謙虚さを持っています。

この忍耐力と謙虚さを兼ね備えることで向上心が身に付き、高みに到達することができるなどからも、「ものづくり」が日本人の国民性に適していることがわかります。

## ■持続し、変化し続けること

「日本は世界で最古の国」であるというのをご存じでしょうか。

近年、サスティナビリティ（持続可能）について欧米から日本が学んでいると言われますが、むしろ国としてのサスティナビリティは、日本が世界をリードするだけのポテンシャルを持っています。

今年1月、帝国データバンクから、日本に業歴100年以上の「老舗企業」が約3万3,000社あるという調査結果が報告されていますので、どのようにして生き残ってきたかを学ぶことは重要です。特に、皆様方と同じ製造業が約25%という結果も報告されていますので、ぜひ、見習っていただきたいと思います。

また、日本がなぜこれほどまでに長い歴史を持ち、生き残ってきたのかという原点を知るために生物学を学ぶ必要があります。

ダーウィンの言葉に「最も強い種が生き残るのではなく、最も賢い種が生き延びるのでない。唯一生き残ることができるのは、変化できる種である。」という言葉があります。

つまり、変化し続けることが大切なのです。



## ■先達に学び、オリジナリティを見つける

稻盛氏は「パナソニック」創業者の松下幸之助氏を大変尊敬しておられ、「松下幸之助になりたい」とも言っていたようです。

松下氏は PHP (Peace and Happiness through Prosperity) 活動に取り組まれましたが、稻盛氏もその思いを大切にしていました。

松下氏の言葉に、「山は西からでも東からでも登れる。自分が方向を変えれば、新しい道はいくらでも開ける。」があります。

会社経営には様々な手法がありますが、原野を切り拓き、新しい道を進むのは難しいことです。まずは誰かが既に行っていることを真似するところからはじめ、人脈を築き、様々な人の話を聞いて情報やノウハウを集めます。優れた経営者は、それらにオリジナリティを付け加えます。

稻盛氏は、松下氏に学ぶとともに、オリジナルの「フィロソフィ」や「アメーバ経営」を生み出しました。我々には多くの先達がいますが、まったく同じことをしていてはその人達にはたどり着けません。

## ■松下氏の講演から受けた恩恵

稻盛氏が若い時、松下氏の講演に参加したことがあります。

その時の演題は「ダム式経営について」でした。そこでは、「高度経済成長に入り、中小企業も調子がよく、安定成長期に入ってきた。しかし、これから景気には必ず波が起きる。不景気も起きるだろう。だから、もしもの時にために会社の中にダムを造り、備えなければなければならない」という話をされたそうです。

また、講演後の質疑応答で、一人の参加者が松下氏に「企業にどうしたらダムをつくれるのか教えてください。」と質問をした際には、「そうですね、簡単には答えられませんが、誰よりも強くダムを作ろうと思うことでしょうね。」と答えられたそうです。

参加者の多くは経営ノウハウや手法を教えてもらえると思ったのに、抽象的な回答を言われたと拍子抜けをしたようでしたが、若い稻盛氏はこの回答を聞いて、全身に鳥肌が立ったそうです。



「そうだ、経営者がだれよりも強く『この会社はこうあるべきだ』と思わずして、その方向に行くわけがない。これこそが、会社経営のすべてのスタートラインだ。松下さんの言う通りだ。」と思ったそうです。

それから数十年ののち、パナソニック創業80周年記念講演で稻盛氏が登壇したとき、当時のエピソードを話し、自分がどれだけダム式経営に学んだか、どれほど恩恵を受けたかという感謝の気持ちを話されました。



## ■感謝の気持ちを持つ

私は稻盛氏の強さの秘密が、「感謝の気持ち」にあると思います。

生まれ育った鹿児島や、創業の地である京都にも多大な支援を行ってきたのも感謝の気持ちがあったからです。

「地方創生」が話題になっていますが、その鍵は、「感謝の気持ち」にあります。

地方創生の本意は、「恵まれている都市圏の人々が、恵まれていない地方の人々を救う」ということではありません。

私が幼いころの北陸などの日本海側は「裏日本」と呼ばれ、また、北海道は産業が十分に発達していませんでした。

ところが現在では環境も変わり、日本海側の港湾取扱高は増加し、北海道で上質なコメやワインが作られるようになりました。これらの地が発展したのは、環境の変化に備えてしっかり準備をしていたからです。

たった数十年で環境が劇的に変わったわけですから、今、地方創生を考えるとき、日本中の全ての地方を大切に思い、取り組むことが重要です。日本が生き残っていくためには多様性が必要だということを考えなければいけません。

稻盛氏は霧島市に京セラの工場を作りました。工場を作ることで雇用が生まれ、給与が支払われることで経済が活性化し、納税額が増えることで地方が潤う。稻盛氏はこの鹿児島の地に工場を作ることで、鹿児島に対する感謝の気持ちを表しているのだと思います。そのような方がいる限り、地方は潰れることはありません。

鹿児島で生まれ、育った若者が県外や世界で活躍することはとても素晴らしいことです。

## ■ものづくりと人づくり

日本は少子高齢化という大変な問題を抱えています。自然災害のような突発的に起きた問題にはすぐに対処します。しかし、少子高齢化のように、今はそれほど影響がないだろうと思って先送りしていると、取り返しがつかなくなってしまいます。

問題を解決するための手間や負担を先送りして、今が幸運ならいいと考えることは絶対にしてはならないことです。自分たちが損をしてでも次の世代につないでいくことを考えなければなりません。

稻盛氏のすごいところは、ものづくりを極めた後、人づくりに取り組まれたことです。

日本には島国根性があり、免許皆伝や一子相伝といった情報を外に出さないことが当たり前の時代がありました。工場にはすりガラスが取り付けられ、新入社員にはノウハウを見せないということもよくありました。

稻盛氏が塾長を務める「盛和塾」では、この「情報を外に出さない」というこれまでの風習を破り、稻盛氏が築いてきたノウハウをすべて見せ、みんなで幸せになろうという取り組みをされていました。

社会のことをずっと考えながら、「生きる」のではなく「生き続ける」。「儲ける」のではなく「儲け続ける」。「売り手よし、買い手よし、世間よし」という近江商人の言葉のように、世間にとて良いことをし続ければ生き続けるし、儲け続けることができるのです。

企業経営で必要なのはCSR（企業の社会的責任）と言われますが、企業にとって最も大きなCSRは、みなさんの本業をしっかりやり続けることです。

皆さんの会社が成り立っているのは、世の中のためにになっているからです。本業に真摯に取り組み、従業員に給料を支払い、従業員が家族を増やし、その子供がまた育っていく。これが一番の社会貢献ではないでしょうか。胸をはってうちの会社はこれだけの収益を上げていますと言えばよいのです。



## ■最後に

人生の「あいうえお」をお伝えしたいと思います。

まず、両親の愛（あ）があって命（い）が生まれます。運（う）があって縁（え）がつながり、それに対して我々は恩（お）を感じます。

恩を受けたら恩を返さなければなりませんが、これからは恩返し以上の「恩送り」をしなければなりません。

日本は少子高齢化で高齢者が多く、若者が少なくなっています。

数少ない若者のために、郷土・親・先輩などからこれまで受けた恩をどうやって次の世代に送っていくかが大切です。

そのための第一歩は、自分の会社の社員が辞めないように、そして高みに上っていくようにすることです。一生懸命自分の組織にダムを作り、収益を確保し、雇用を確保することで、家業を発展させることが大事です。そして何より、社員や家族に夢を語ってあげることが大切です。



## ■出展事業者紹介（九州・沖縄各県）

### アサヒ醸造株式会社（福岡県）

住所 柳川市出来町 24 代表者 代表取締役 藤井 皇

#### 2次発酵を利用した甘味料・うま味調味料不使用の九州醤油の試作開発

九州醤油は独特の「甘み・旨み」を持っているが、これは添加物に依存するところが大きい。しかし、現市場では、添加物は敬遠されるため、当社独自の麹造り技術を活用して発酵用麹（米麹・大豆麹）を作製し、醤油を2次発酵させることで、添加物によらない「甘み・旨み」を付与した九州醤油の「試作開発と試作開発のための設備投資」を行った。



### 株式会社天年堂（福岡県）

住所 久留米市国分町 1382-1 代表者 代表取締役 稲生 敏美

#### 高級線香及びアロマ系線香製造のための新型線香玉締め機購入の件

汎用品から高級品まで幅広い線香製造を手掛けているが、新型機械の導入により、従来の高級線香とは違った、香りを楽しむコーヒーや緑茶の香りのするアロマ系線香等、新たな商品を開発し、市場開拓に取り組んだ。手作業の機械化によって品種の切り替えがスムーズにできて生産能力が上がり、生産の歩留まり向上などの効果がでている。



### 株式会社GGG For all（福岡県）

住所 豊前市大字八屋 408-2 代表者 代表取締役 岸本 千寿子

#### 湧水にしか生息しない希少な「スイゼンジノリ」を活用したP B化粧品の開発

野生の生物「スイゼンジノリ」は、淡水性の藻類で、綺麗な湧水にしか生息しない希少な天然素材であり、ヒアルロン酸の約10倍の保水力が検証されている。当社は、この原材料を調達する独自ルートを確保できたため、将来性を見込めるこの天然素材を活用した、自社ブランド化粧品の商品開発を行った。作成したサンプルについて官能検査を実施し、平成27年4月に発売を開始した。

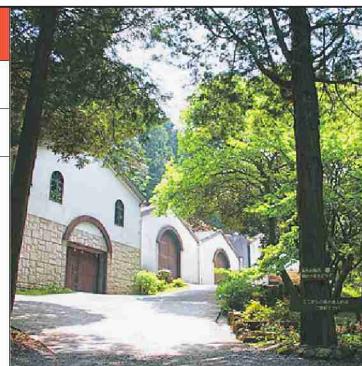


### 株式会社巨峰ワイン（福岡県）

住所 久留米市田主丸町益生田 246-1 代表者 代表取締役 林田 安世

#### 近郊農家の熱望に応えて、多品種の果実から美味しいワインに生産加工する事業

近年の六次産業化により、ワインの少量多品種受託製造需要が年々増加してきたが、従来設備では供給が間に合わず、六次産業活性の妨げとなっていた。小型発酵タンク2基を導入し、品温制御盤と冷却チラーを活用した温度管理、ロータリーポンプにてワインの移し替えができる設備が整ったことで、少量のワイン製造受託を推進できる環境が整った。



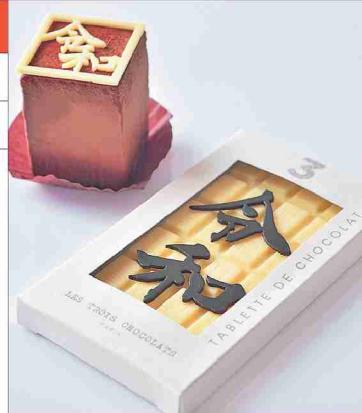
# 特集2

## 有限会社チョコレートショップ（福岡県）

住所 福岡市博多区博多駅南 6-6-20 代表者 代表取締役 佐野 隆

### ウォータージェットカッター導入による生産性・高品質化・短納期化の実現事業

菓子の製造工程において最終局面に当たるカットを手作業で行っており、不良発生や納期短縮ニーズに支障をきたしていたことから、ウォータージェットカッターを導入し製造工程の一部自動化による生産性・高品質化・短納期化を同時に達成することができた。最新型の機械導入により、手作業でなければ難しかった作業の大半を自動化でき、さらに手作業でも難しい加工も実現することができた。



## 有限会社舞織カーテン（熊本県）

住所 熊本市南区八幡 7-2-3 代表者 代表取締役 北野 玉志

### 業界初の斬新で独創的なアイデア、機能性を有した新商品の企画・販売

新規取引先の増加及び新商品「フィットバランスカーテン」の製造販売に伴う生産量増加に対応するため、カーテン芯付け・天伏縫い自動機の導入により、1台のミシンで生産可能となり、吊下器具制作金型の導入により、カーテン寸調整が可能なカーテン吊り下器具の製造が可能になった。特許出願中の製品「フィットバランスカーテン」の販売を通じ、新規顧客開拓・売上増加に繋げる。



## 株式会社ワコー（熊本県）

住所 熊本市南区御幸笛田 3-19-1 代表者 代表取締役 浦上 善穂

### UAV レーザー測量システムを用いた高精度3次元地形データの提供による生産性向上

測量・建設コンサルタントとしてインフラ整備に携わっている。建設業界では、3次元データを活用することで作業時間の短縮・安全性の向上・創造的な仕事への転換を図る「i-Construction」に取り組んでおり、当社でも対応していく必要があった。UAV レーザ測量システムを導入することで、樹木等の植生の影響を受けずに正確な3次元地形データ取得が可能となり、作業時間も短縮された。



## 株式会社川原茶業（佐賀県）

住所 嬉野市塩田町大字馬場下甲 2551 代表者 代表取締役 川原 秀清

### 海外需要に向けた『嬉野茶』販路拡大を支える茶成分分析計の導入

海外バイヤーとの商談では、お茶の生産方法や品質の違い等を伝えにくく、近年では茶葉を数値化して目に見える形で要求されることが多くなり茶成分分析計の導入に取り組んだ。導入した茶成分分析計は、中国語と英語に変換が可能で、海外輸出用の茶葉を全て数値化できるようになったことで、より効率よく茶葉の説明ができるようになり、他社との差別化が図られた。





## ボローニヤマックス株式会社（佐賀県）

住所 三養基郡みやき町江口 4834-6 代表者 代表取締役 松尾 豊

### 防災備蓄商品（缶 de ボローニヤ）の賞味期限延長による商品性向上

缶詰デニッシュパン『缶 de ボローニヤ』を開発し、販売したところ、防災商品の中でも人気商品となった。賞味期限は3年にて製造していたが、賞味期限延長の要望も多く、新たに賞味期限を5年に延長した『備蓄 de ボローニヤ』の製造＆販売強化を行った。分割機、缶巻締機、ピンホール検査機、ラベル貼り機、ボイラーを導入することで品質及び生産性増強に成功し、商品性向上を実現できた。



## フンドーキン醤油株式会社（大分県）

住所 臼杵市大字臼杵 501 代表者 代表取締役 小手川 強二

### 微酸性電解水での製造器具類の殺菌による製造環境の改善

ぽん酢などの製造器具は熱水により、床は次亜塩素酸Naにより殺菌を行っていた。本補助事業により、微酸性電解水製造装置一式を導入し、生産現場の製造装置、床面へ微酸性電解水の散布が可能となり、製造環境の衛生度を上げることが可能となった。微酸性電解水による製造環境を応用した低塩・低酸度商品は現在も開発中であり、商品化に向けての各方面への宣伝活動を継続して行っている。



## 有限会社亀山工業（宮崎県）

住所 延岡市大武町 5321-2 代表者 代表取締役 亀山 善弘

### 多機能NCルータ及びCAMの導入による工程統合・生産性向上事業

半世紀以上かけて樹脂加工技術を磨いてきたが、現在では部品加工にとどまらず、製造工程装置の組立加工、据付工事まで手掛けている。これまで手加工で行っていた斜め加工や外注していた横穴加工を、高精度かつ多機能なNCルータを導入することで製作時間の短縮や内製化を図ることができ、低コストかつ高品質な商品提供が行えるようになった。



## 株式会社サンライフ（宮崎県）

住所 小林市野尻町三ヶ野山 4249 代表者 代表取締役 大久保 敏章

### 自社オリジナル開発商品「ライフジビエカレー」量産のための内製化

健康補助食品という機能と農家の鳥獣被害対策解決を兼ね備えた「ライフジビエカレー」を自社開発したが、量産設備を保有しておらず、殆どの製造工程を外部に委託していた。レトルト機充填機・真空包装機・攪拌機・蒸気窯を導入することで、ジビエ（鹿猪）の機能性食品並びに災害時に備えた保存食品「ジビエカレー・ジビエシチュー・お粥」とペット用レトルト食品の製造体制が整った。



## 特集2

### 粕谷製網株式会社（長崎県）

住所 諫早市川内町 485 代表者 代表取締役 粕谷 正昭

#### 定置網および養殖生簀網の防汚（防藻）加工設備の導入による競争力強化

化繊網製の定置網や養殖生簀網は長期間海中に浸することで付着生物などが取り付き、網目を塞ぎ、海水の交換率を下げ、網の変形が起こり、定置網の漁獲減少や養魚にストレスを与え病気の引き金となる。今回、最新の定置網や養殖生簀網の防汚加工施設を導入することで、加工工程の効率化と安全性を確保し、顧客の信頼度増加と共に売り上げ増加に結び付ける体制が整った。



### 長崎県地域事務局ブース



### 沖縄県地域事務局ブース





## ■出展事業者紹介（鹿児島県）

### 株式会社アルプラスエステック

住所 霧島市溝辺町三縄 578-6 代表者 代表取締役 刀原 精

#### 工程改善のための自動アライメント機能付き露光装置の導入

マイクロプラス加工において、これまで露光工程における位置決めを作業者の肉眼で確認していたため、作業者のスキルや体調によって時間や品質にバラツキが発生していた。自動アライメント機能付き露光装置を導入することで、画像処理によって自動化し、生産性が飛躍的に向上したこと、生産余力の拡大と、より高精度な製品の製造を実現することができた。



### 有限会社大成畜産

住所 曽於市大隅町岩川 6134-1 代表者 代表取締役 大成 英雄

#### 郷土保存食製法の桜島灰干しによる長期保存可能な豚肉加工品開発

鹿児島に昔より伝承されてきた桜島灰干し製法を応用して、自社ブランド豚「やごろう豚」を使用した熟成肉の製造に取り組んだ。市場ニーズの高い熟成肉を製造するため、パネルシステム冷蔵庫・冷凍庫・加工室、スチームコンベクションオーブン、プラストチラー等の機械装置を導入することで開発体制が整った。商品化に向けレトルト殺菌、パッケージなどの問題解決にも併せて取り組んだ。



### 鹿児島ケース株式会社

住所 日置市吹上町与倉 4954-19 代表者 代表取締役社長 居迫 伸孝

#### レーザネットワークを活用した新規設備と既存設備へのレーザ供給ラインシステムの構築

精密板金加工を強みとしている。半導体関連業者への売上が大半を占めるが、食品機械や医療機器向けの精密板金へ転換を図るため、IoTを利用したネットワーク機能を持つファイバーレーザ化加工機を導入した。銅や真鍮といった難加工材の切断が可能となったほか、コネクタ改造や試作等に取り組んだことでレーザ切断工程の生産性向上（60%）や多能工化が図られ、働き方改革にも繋がった。

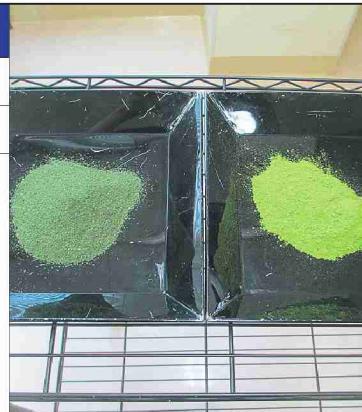


### 鹿児島製茶株式会社

住所 鹿児島市錦江町 6-26 代表者 代表取締役 森 裕之

#### 高性能粉碎機導入による生産力の増強及び販路拡大の推進

国内では従来のリーフ茶は消費低迷が続いているが、粉末茶は国内外で需要量が伸びている。増えるニーズに対し、既存設備では 1kg / 1 時間しか加工できなかったが、ビーズミル機を導入することで、10 ~ 24kg / 1 時間が製造可能となり、製造時間の大幅な短縮、アウトソーシング費用や送料の削減が図れた。さらに、粉末粒度が細かい商品が提供できる事で、市場ニーズへの対応力も大幅に向上した。



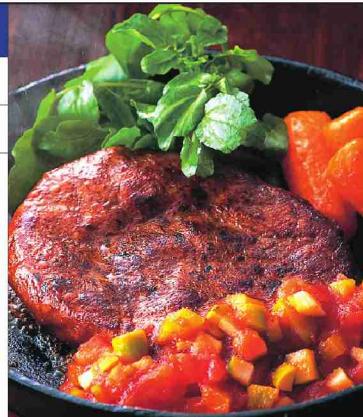
# 特集 2

## 有限会社鹿児島ますや

住所 有限会社鹿児島ますや 代表者 代表取締役 米増 昭尚

### 地産中心の魚等を原料にした「カルシウム豊富な無添加ハンバーグ、コロッケ」等の開発・販売

地元で獲れた魚を有効活用するため魚肉ソーセージを作っているが、ソーセージ以外の加工品の開発を目指した。包あん機の力を活かし、地元でとれるビンチョウマグロのすり身で金目鯛のすり身を包み込んだハンバーグを開発した。無添加で高級魚を使用しているため、健康志向やオーガニックを選んで買う客層をターゲットに贈答用として販売している。今後は魚を数種類ブレンドして商品化を目指す。



## 株式会社かしい

住所 南九州市知覧町郡 9035-1 代表者 代表取締役社長 鶩見 夏樹

### 国内産原木乾椎茸の粉体加工による「出汁原料」等の製造技術

国内産の乾椎茸について、短時間で旨味抽出が可能な「出汁パック」や加工原料としての需要が高まっており、粉体加工を可能にするため、解碎機(パワーミル)、微粉碎機(アトマイザー)、分級機(粒度振動ふるい機)を導入した。平成28年11月に機械導入以来、延べ約1,150万円の販売実績を計上している。割れ椎茸や軸などを粉末粉碎し、有効活用することで増益につながっている。



## 有限会社神薦鉄工建設

住所 南九州市川辺町田部田 4025-8 代表者 代表取締役 神薦 健二

### 一次加工生産能力の増大を図り、短納期で高精度の鉄骨加工を実現する

設計・加工・建て込みまで一貫して行う地域密着型の鉄骨建設を事業としている。これまで鉄骨の一次加工を鋼材屋に外注依頼していたが、高性能のドリルマシンを導入することで、ボトルネックとなっていた穴あけ加工の時間短縮が実現され、高精度の加工が可能となった。生産性の飛躍的向上によって、短納期対応や新規顧客開拓ができるようになり、案件受注が順調に伸びている。



## 有限会社上山自動車

住所 薩摩川内市勝目町 4112-5 代表者 代表取締役 上山 勝一

### 最新修正機器導入による車体整備事業の高品質化及び作業の効率化

昨今の自動車は電子化や部品の材質・車体構造の変化等があり、復元修理にあたり、高度な技術と機械化が求められている。小破損から大破損まで対応でき、精度の高い修理を可能にするセリエ100インフロアージュ修正機を導入し、自動車復元修理の高品質化及び作業の効率化を確立した。これにより①ミリ単位の精度の高い修正が可能②修正作業期間が平均16日から平均5.5日に短縮③保険会社との取引開始④修理単価のアップ、などの事業成果があった。



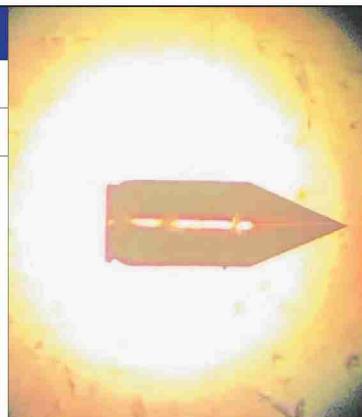


## キリシマ精工株式会社

住所 霧島市国分川原 918-7 代表者 代表取締役 西重 保

### 極小径ワークの加工技術の構築と生産性向上事業

センシング機器は急速に小型化＝小径化が進んでいる。当社でも極小径部品の高精度加工という技術的課題を解決するため、Φ 2.0 mm以下に対応、背面加工ができ、ワーク排出の機構が付いた CNC 自動旋盤機を導入した。加工データの蓄積による生産性向上と加工技術・技能の向上を図った結果、極小径・高精度加工技術の構築・確立ができた。その加工技術・技能の高さを医療機械メーカーから認められ、受注拡大が図られた。



## 株式会社キンコー

住所 薩摩川内市小倉町 7561 代表者 代表取締役 吉見 嘉之

### 超精密小径打抜きパンチの先端部微細加工全自動無人運転システムの確立

金型の組込みに使用するための超精密小径打抜きパンチの素材の入荷に時間を使っていたため、内製化の取組みが急務であった。そこで自動供給装置を用いた機械装置を導入し、自社でストレートパンチ製作の内製化に取組んだ。先端部微細加工から検査までが自動化・無人化できることでリードタイム短縮、生産性の向上及びコストダウンを実現できた。また、従来の4倍の生産量を達成した。



## キンコー醤油株式会社

住所 鹿児島市南栄 3-13 代表者 代表取締役 占部 大介

### こだわり醤油を使用した小袋商品の生産性向上および売上増加計画

お弁当や惣菜を購入し自宅で食べる「中食（なかしょく）」が増えており、それに伴い商品に付属する『醤油』の小袋商品の需要が高まりつつある。既存設備老朽化等により生産が追いつかない状況にあったが、最新の液体・粘体高速自動充填機を導入することにより、小袋商品製造にかかる所要時間が2日から1日と半分に短縮され、生産量がこれまでの2倍となり、需要に対応できるようになった。

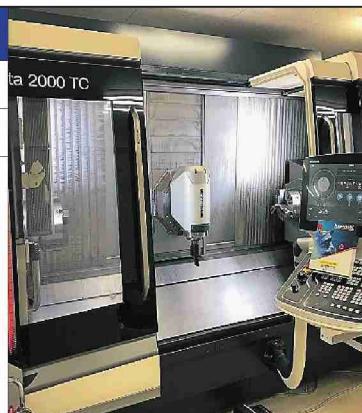


## 株式会社 K O G E N

住所 薩摩川内市樋脇町塔之原 853-1 代表者 代表取締役 山元 光二

### 最新の同時5軸複合加工機を用いた、大手試作開発市場への本格参入と高度加工技術者の育成

当社で所有していた設備は同時5軸制御の性能を備えていたが、3軸制御のソフトしか付属していなかったため、これまで5軸制御の活用や付加価値の高い市場への展開ができずにいた。そこで数値制御支援設備 hyperMILL を導入することで、今まで不可能だったアンダーカット部の5軸制御加工が可能となるなど、既存設備の5軸制御加工能力をフル活用できるようになり、生産性および品質の向上が図られた。



# 特集2

## 株式会社コマロック

住所 鹿児島市七ツ島 1-92

代表者 代表取締役 前薗 栄作

ITを取り入れた消波ブロック養生シート再生のための環境に優しい設備の導入による再生プロセスの構築

これまで当社製品の『養生シート』はクレーンで吊り上げて、人の手により洗浄していた。養生シートの洗浄においては、製品の耐久性、洗浄に係るコスト、納期短縮、品質の向上が課題となっていた。そこで養生シート自動洗浄装置を導入した結果、作業ムラや落としムラがなくなり、さらに大幅な生産プロセスの改善と品質向上が図られ、課題が解決した。



## 株式会社三州園

住所 鹿児島市紫原 6-46-25

代表者 代表取締役 中禮 雅治

後発酵茶（こうはっこうちや）等の品質・生産性向上とティーバッグ化への取り組み

後発酵茶やフレーバーティーなどのティーバッグ開発に取組んできたが、製品化するには活用する麹菌の取扱いが非常に重要であった。そこで、発酵過程における麹菌管理等に活用する機器類とティーバッグ化するまでの工程に活用する機器類を導入して製品化を実現した。メディアでもお茶の新たな『鹿児島の黒』として注目を集め、取引先も全国に広がりを見せて いる。



## 有限会社三昧堂商事

住所 志布志市志布志町志布志 3-10-5 代表者 代表取締役 川畠 文雄

顧客満足度アップと生産性向上を図るための新たなプリントサービス事業

これまでプリントサービスを外注していたが、廃棄ロスの発生や割高コストでの対応を余儀なくされていた。そこで、UVプリンタ、レーザー加工機、電動裁断機を導入し、外注委託していた分野の内製化を行い、生産プロセスの改善を図った。これにより顧客のオーダー変更や修正にも柔軟に対応でき、コストも外注と比べ 2 割程度軽減することができた。



## 有限会社サンワ技研

住所 霧島市国分広瀬字小波止 2128-4 代表者 代表取締役 富澤 和郎

顧客ニーズに対応した円筒研削盤の導入による新たな売上の創出

当社は平面研削加工を強みにして成長してきた。その一方で、顧客から円筒研削加工のニーズがあったものの、対応できる設備を保有しておらず、機会損失が発生していた。今回 CNC 用汎用円筒研削盤を導入し、当社の技術・ノウハウを活かすことで、円筒研削加工製品の生産体制を確立できた。今後は 2 工場間の連携強化や、社内工程管理ツールの開発などにより、顧客へのサービスを向上させていきたい。





## 株式会社シュウエイ

住所 指宿市西方 1970-1 代表者 代表取締役 村山 巧

### 「指宿産 “ごろっと” やさいのさつま揚げ」開発による経営力強化

当社が開発した「ごろっとやさいのさつま揚げ」等の製品は、消費者の健康志向の高まりを背景として引き合いが増加していたが、手作りであることや冷凍出荷ができないことなどが原因となって対応できなかった。そこで新型成型機を導入したことでの、製造時間を1/20と大幅に短縮し、大量生産が可能になった。販路開拓の可能性が広がっただけでなく、人出不足が解消され、働き方改革にもつながっている。



## 株式会社樹楽

住所 姶良市加治木町木田 2344-4 代表者 代表取締役 椎木 春幸

### 地域特有の降灰を活用した「桜島灰干し」による試作品開発と市場開拓

当社はこれまで売れずに廃棄されてきた天然地魚と火山灰を活用し、100年間途絶えていた桜島灰干し技法を復活させた。この事業を通じ、魚にこだわらず、牛肉や豚肉を用いた新製品の開発に取り組んだ。スチームコンベクションや急速冷凍プラストチラー、真空包装機を導入し、肉類商品や常温販売可能な商品の試作開発を行い、売上や生産性が飛躍的に向上した。



## 猩々農園株式会社

住所 伊佐市大口山野 1559 代表者 代表取締役 猩々 義秋

### 伊佐もち米ブランド「さつま雪もち」の甘酒と甘酒加工品の商品開発による地域おこしへの挑戦

当社は伊佐市のブランド米やトマト、メロンなどを生産していたが、季節的、天候的な要因により売上が大きく左右されてしまっていた。安定的に売上を確保するためには自社の生産物を活用した製品開発に取り組む必要があった。そこで、麹発酵機や甘酒糖化タンク等を導入し、甘酒を開発した。爽やかな甘さとさらっとした飲み口で良好な売り上げを維持している。今後はさらなる設備投資を行い、増産と生産効率の向上を図る。



## 株式会社川内建装

住所 薩摩川内市上川内町 2934 代表者 代表取締役 稲留 孝男

### 高性能防音パネルによる、組合せ自在な汎用性の高いサイレンサー（防音パネルシステム）の開発及び製作

一般的な防音パネルは現場での加工が必要で大掛かりな物が多く設置にかかる時間も長い。そこで、現場での加工が不要で、設置や運搬が楽にできる防音パネルシステムの開発に取り組んだ。防音ドア、LED照明、換気口等を備えたパネルを開発。遮音性能は本事業で目標とする50dBを下回ったが、引き続き遮音性能の向上や床パネルの開発、木質系の素材を活かした温もりの感じられる製品を開発したい。



# 特集2

## 株式会社垂水南

住所 垂水市本城 3882-1 代表者 代表取締役 和田 晃

### 自社養殖のカンパチを使った簡単手間いらずの加工品の製造・販路開拓事業

自社養殖のカンパチの切り身を味付け加工し、顧客ニーズに合致した製品を製造するために、スチームコンベクションオーブン、急速冷却機、真空包装機を導入した。カンパチのみぞ漬けやカマ焼きを入れた弁当を生産し、地元の道の駅に納品して好評を得ている。今後は「母の手作りシリーズ」商品のラインナップを拡充し、一層の工夫と努力でよりよい商品づくりを目指す。

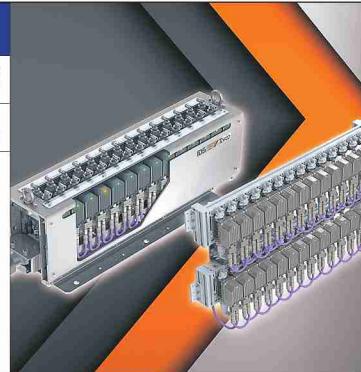


## 東フロコーポレーション株式会社

住所 霧島市隼人町住吉 258 代表者 代表取締役社長 田畠 隆一郎

### 新規設備導入による、IDS(集積フローコントロールユニット)の開発加速化で自動車産業への参入

当社は流量計制御機器の専門メーカーであり、先般自動車業界へと参入しました。当社の新商品「集積フローコントロールユニット」は大手メーカーから高評価を得ているものの、まだクリアしなければならない問題が多かった。そこで計測システム等を導入することにより、作業の自動化や検査結果の可視化・共有化が可能となり、開発速度が大幅に向上した。



## 徳之島物産株式会社

住所 大島郡徳之島町神之嶺 218-1 代表者 代表取締役 副島 博

### 特産品焼き菓子工場の手作業工程機械化による生産性向上、売り上げ拡大事業

離島は季節により観光客数が大きく増減する。最繁期に観光客の増加に合わせ土産品の販売数を伸ばしていくことを想っていたが、焼き菓子の製造工程が手作業であり、売切れによる機会損失が発生していた。そこで「卓上サブレ型抜き機」を導入し、作業効率化、生産性向上を図った。生産能力が約2.5倍となり、販売数を大きく伸ばすことができた。

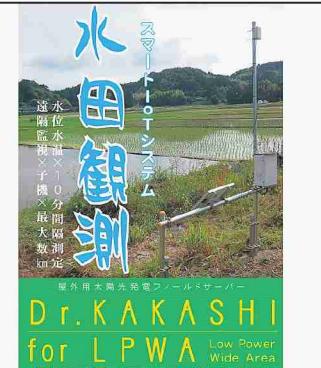


## 株式会社ドリームワンカゴシマ

住所 鹿児島市宇宿 1-26-27-705 代表者 代表取締役 五百路 裕之

### 施設栽培の多センサー連続計測による地域品目別データウェアハウス構築事業

施設栽培の圃場をセンサーにより診断して生産技術分析を行い、低コストで効率的なデータ農業を確立するため、圃場環境測定器「Dr.KAKASHI」の多センサー機能の強化と太陽光省力発電を実装し、施設栽培における機器導入の成功事例を明文化することを目指した。生産技術分析と遠隔監視Webシステムのデータ農業情報サービスの基礎を開発することができた。





## 中園機工株式会社

住所 薩摩川内市青山町馬渡 4597-2 代表者 代表取締役 中園 裕樹

### 高精密ワイヤー放電加工機の導入による精密部品加工事業の強化・新規分野への参入

海外業者の参入等により精密部品加工の競争が激化する中、より精度が求められる分野への参入及び取引先の拡大への対応を迫られていた。既存の機械では新規市場が求める精度に追いつかないため、最新式のワイヤー放電加工機を導入した。導入により、加工できるサイズや精度が向上し、大幅な受注増加を実現した。今後、小型精密加工を強化し、更なる受注拡大を目指す。



## 株式会社南光

住所 志布志市志布志町安楽 6142-3 代表者 代表取締役社長 上田平 孝也

### 3DCAD・3DCAM導入による金型設計の効率化と最新設備導入による収益力の向上

金型の設計製作においては、設計者的人材不足や設備の老朽化による精度・加工速度の低下が課題となっていた。人的・物的課題を解決するため、3DCAD・CAMと24時間稼働対応の高精度ワイヤ放電加工機を導入した。導入と併せて社内の操作教育を推進した結果、外注加工費の削減と納期短縮を実現した。今後、人材育成に重点をおきつつ、モデリング技術を一層向上させていく。



## 南州農場株式会社

住所 鹿屋市野里町 2940-2 代表者 代表取締役社長 本田 玲子

### 鹿児島黒豚肉を用いた発酵食肉製品の新商品の研究開発

発酵食肉製品は高級品として認識されつつあり、市場規模は拡大している。大隅半島独自の乳酸菌を分離し発酵食肉製品の製造が可能となれば非常に高い収益性が見込めるため試作開発に取り組んだ。本事業で乳酸菌7株を分離し、遺伝子を解析して系統分析を行い、分離菌株2株のみを用いた試作で生サラミの製造を行った。今後は、分離した7株全ての発酵能力を食肉に用いて調べることで、鹿児島黒豚を原料として発酵食肉製品を製造し、販売していく。



## 日本ハードウェアー株式会社

住所 曽於郡大崎町永吉 5875 代表者 代表取締役社長 小川 慶一郎

### 研削・放電加工から、油圧プレスを用いた塑性加工法に転換した成形ピンの製造

従来の機械加工法で製造した成形ピンは、強度不足に問題があった。この問題を解決するため、100TON冷間圧造プレス機を導入し、従来の加工法から油圧プレスを用いた塑性加工法に転換することで、高強度な成形ピン製造が可能となった。今後は、従来の鍛造技術では不可能とされてきた特殊鋼材での鍛造加工プロセスを確立させ、多様な顧客ニーズに対応していきたい。



## 特集2

### 日高水産加工有限会社

住所 いちき串木野市西薩町 17-14 | 代表者 代表取締役 久木山 瞳男

#### 加熱工程と包装工程の革新的設備導入による付加価値生産性の向上

水産練製品の製造プロセスにおける加熱工程と包装工程の課題を解決すべく、スチームコンベクションオーブン及び新型上包装機を導入した。これにより、加熱時間の短縮及び多彩な加熱工程と包装作業の自動化が図られ、生産効率が大幅に改善した。また、短納期の大口受注も対応可能となり、既存製品も含めたギフト売上の増加が見込める。今後は、自社製すり身を使用した新商品開発にも積極的に取り組んでいく。



### 福山黒酢株式会社

住所 霧島市福山町福山大田 311-2 | 代表者 代表取締役 津曲 泰作

#### 海外のビール酵母を使った個性派ビールの開発およびミニサイズの樽詰めビールの製造

海外のビール酵母を扱うにあたり、酵母を扱う器具類を減菌するための高圧蒸気滅菌機、酵母を大量に分離・収集するための高速大容量冷却遠心機、酵母の品質を確認するための生物顕微鏡を導入した。これに黒酢製造で培ったバイオ技術を合わせ、生産性向上と酵母の品質管理を実現したこと、海外のビール酵母を使ったクラフトビールの製造が可能となった。



### 富士エネルギー株式会社

住所 日置市吹上町中原 1555-14 | 代表者 代表取締役 亘 大樹

#### 太陽集熱器用ヒートパイプ製造設備の革新的製造技術の確立とその試作開発

太陽集熱器の中核部品であるヒートパイプは、性能のバラツキが重要な課題だった。そこで、独自開発した「ヒートパイプ自動製造装置」及び「ヒートパイプ性能試験装置」を導入することで、性能の安定化と集熱量アップ、販売台数の向上に取り組んだ。今回開発したヒートパイプ製造装置は特許申請も行った。今後は高効率太陽集熱器の更なる性能向上を図り、空調熱源用の開発も検討していく。

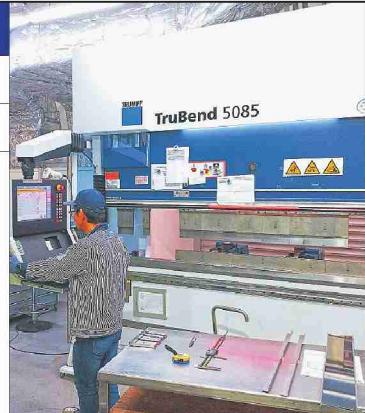


### 株式会社藤田ワークス

住所 霧島市国分上野原テクノパーク 12-18 | 代表者 代表取締役 藤田 幸二

#### IoTの活用による曲げ機ネットワーク型多品種少量生産の高効率化

精密板金加工を行う当社は、受注件数が多く、作業工程の平準化管理(生産管理)が課題となっていた。そこで、IoT技術の分析を利用したBendCAM(曲げ用CAM)とネットワーク設備であるTruBend5085曲げ機を導入し、生産プロセスにおける短納期対応型工程の確立を図った。IoT技術の活用で最適化された加工プログラムによって、稼働時間単位の生産個数が改善され、加工ミスも大幅に削減された。





## 富士屋製菓有限会社

住所 曽於郡大崎町假宿 560-1 代表者 代表取締役 小野 卓也

### 麦芽製法の技術を活かし小ロットへの対応

さつま芋の麦芽糖を原料とした飴やキャンディーの製造を行う当社は、多品種少量生産のニーズに対応する生産体制を確立するため、小ロット製造を可能とする2種類の蒸気窯と自動圧搾機を導入した。また、栄養成分表示の法令改正に対応する新型プリンターを導入し、印字コストの抑制に繋げた。今後は、多様な試作品開発を推し進め、県内外の商品展示会に積極的に出品し、オリジナル商品のアピールを通して、より一層付加価値の高い商品化を目指していく。



## 有限会社古市製茶

住所 南九州市川辺町永田 1296-1 代表者 代表取締役 古市 昇二

### 茶製造工程における金属検出機と成分分析計導入による異物混入減及び付加価値の強化を通じた販路拡大事業

消費者に安心・安全な商品をお届けする仕組みを構築するため、茶製造工程における異物混入リスクを減少させる高性能な金属検出機と品質評価を客観的に示す茶成分分析計を導入した。導入により、金属の異物混入はゼロとなり、成分分析計で客観的に示された旨味成分は、熟練工の感覚による官能評価と合わせて、より精度の高い成分エビデンスを持つことができた。



## 有限会社プロシードサカキ

住所 薩摩郡さつま町時吉 1975-1 代表者 代表取締役 榊 健一

### ボタン付けミシンによる生産体制の改善と自社ブランド製品販売へ

熟練者の手作業と外注に依存していたボタン付け工程を改善し、品質の均一化を図るため、高速電子単環根巻きボタン付けマシンを導入した。導入により、ボタン付け工程の自動化が図られ、生産性が向上し、品質を均一化できることでメーカーからの信頼がより一層厚くなった。今後は、下請けからの脱却のため、さらに生産効率を高め、一貫生産の縫製工場に徹して委託先を開拓していく、自社ブランド製品の生産を目指していく。



## 株式会社堀口園

住所 志布志市有明町野神 3451-8 代表者 代表取締役 堀口 常弘

### 残留農薬分析器の導入による茶の輸出体制確立と検査工程の効率化

輸出用茶の残留農薬検査を外注依頼していたことから、多くの時間と経費を要し、出荷量にも制限がかかっていた。残留農薬検査の内製化が求められる中、残留農薬の多成分一斉分析が可能な質量分析計を導入した。自社での残留農薬分析が可能となったことで、検査費用の削減、検査時間の短縮が期待される。今後、内部検査化による輸出体制の確立を進め、海外取引量の拡大を図りたい。



# 特集2

## 本坊酒造株式会社

住所 南さつま市加世田津貫 6594 代表者 代表取締役 本坊 和人

### 今までにない新工法の発酵工程とスピリット蒸留機を活用した蒸留酒の開発

主原料を蒸さず（加熱せず）に発酵させる新発酵法に、海外に使用されるスピリット蒸留機（単式蒸留器）の蒸留法を組み合わせ、海外の消費者の嗜好をより強く意識した「美しい日本をイメージする原料を使用した新たな味わい」の蒸留酒の開発を行った。「フードダイサー（裁断機）」と「スーパーマスコロイダー（摩碎機）」を使用することで、製造中の腐敗防止を含め安全かつ速やかな発酵が可能となった。



## 町田酒造株式会社

住所 大島郡龍郷町大勝 3321 代表者 代表取締役社長 中村 安久

### 最新レーザ加工機導入による瓶やラベル等に地域特性あふれるオリジナルデザインを彫刻した黒糖焼酎の製造販売

工場見学者から「オリジナルラベル」などの要望が多く寄せられていた。そこで、工場見学者をメインターゲットとしたオリジナリティあふれる製品の開発に取り組むべく、瓶へ直接彫刻できるレーザ加工機を導入した。導入により、オリジナルデザインを彫刻した黒糖焼酎などの製造・販売が可能となった。今後、より繊細で美麗なデザインの彫刻ボトルをプレミアム販売していきたい。



## 有限会社マルサ工業

住所 鹿児島市上谷口町 2199-3 代表者 代表取締役 佐藤 磐雄

### 数値制御式木工機導入による不良材・端材を利用した生産性向上計画

モミの木から作った内装材は供給が限られており、端材まで有効活用することが課題となっていた。そこで、不良材や端材を利用して造り付家具などを生産できる数値制御式木材加工機を導入した。不良材や端材を活用したドアやベッドなどを試作しており、顧客からの評価は高い。引き続き、モミの木の限られた輸入量の中で、不良材や端材を有効に使いつつ、顧客の要望に応えていく。



## 有限会社宮置工場

住所 薩摩郡さつま町虎居柚木ヶ谷 4233-1 代表者 代表取締役 宮 伸一郎

### 生産プロセス改善による高品質畳の開発と超短納期の新サービス提供事業

一般的な畳の需要減少が顕著である一方で、特殊畳の要望や洋風化の問い合わせは増加していた。しかし既存の設備での製造は困難で、手作業で対応するしかなく苦慮していた。今回、両裁断機・熱圧着機・縫製機の導入により、製造スピードが格段に向上し、特殊畳の製造や、従来できなかつた薄畳の縫着並びに置き畳も製造可能になった。さらには、急な新調畳も両裁断で超短納期が実現した。



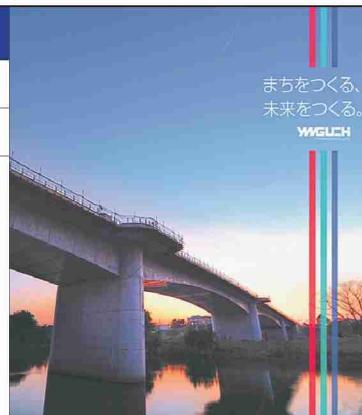


## ヤマグチ株式会社

住所 霧島市牧園町宿窪田 1960 代表者 代表取締役 山口 克典

最新 | CT技術導入により測量効率を上げ生産性及び収益力向上を図り、更に事業領域の拡大計画

工事測量業務は、測量精度により工事品質が左右される重要な業務である。しかし現場環境の厳しい急傾斜地や災害現場等では、測量が困難であるとともに時間を要し、危険な業務であった。そこで、無人航空機及び3次元レーザースキャナを導入し、危険地域での測量を安全に実施し、リスクを大幅に低減できた。また従来と比較して、短時間で低成本・高品質な成果を得るシステムが構築できた。



## 株式会社ゆいの里

住所 姶良市加治木町木田 5348-149 代表者 代表取締役 石原 清美

農薬不使用栽培黒ニンニクの効率的生産システムの導入

従来の設備では、加熱発酵過程で定期的な棚交換が必要で労働負荷が発生していた。また、庫内温度が一定に保てず結露が発生し、水分付着により発酵が阻害されるなど技術的課題を抱えていた。今回、発酵から熟成までを全自動で行う新型発酵機を導入し、自動化により廃液除去作業や棚交換等の生産プロセス改善を図った。その結果、販売数量の増加と販路の拡大につながった。

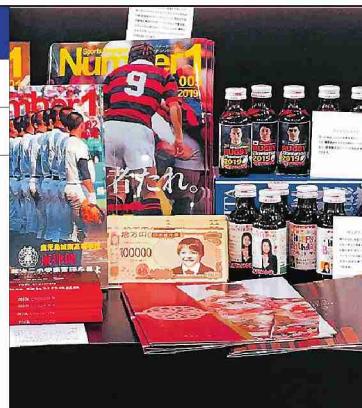


## 協業組合ユニカラー

住所 日置市伊集院町郡 2042-39 代表者 代表理事 岩重 昌勝

印刷素材を選ばない新たな塗装技術活用による高品質・低成本な印刷技術の確立

特殊印刷は様々な印刷素材に対応した技術が求められ、さらに、作業現場における健康面への配慮から揮発性有機溶剤を極小化することが必要であった。本補助事業により、汎用性の高い印刷機能を備え、広範な印刷素材に対応し、さらに「竹紙」にも対応する多用途印刷機を導入した。カードやクリアファイル等への印刷が高品質かつ低成本で可能となり、「特殊印刷」の幅が広がり、他の印刷事業者との差別化が実現できた。



## 吉村醸造株式会社

住所 いちき串木野市大里 3868 代表者 代表取締役 吉村 康一郎

甘口味噌及び新規の発酵調味料の製造を可能にする機械装置(製麹・加工)の導入

甘口味噌及び新規発酵調味料製造の既存設備は大量生産用に設計されており、小ロットへの対応は、原材料の攪拌、計量、充填等を手作業によるため生産効率が悪く、コストも高かった。今回、自動原料処理製麹装置、ハンディ秤充填機、蒸気式攪拌窯を導入し、少量多品種の製造を効率的かつ衛生的に行うことが可能となった。また特製味噌等新規商品開発へ向けた体制構築にもつながった。



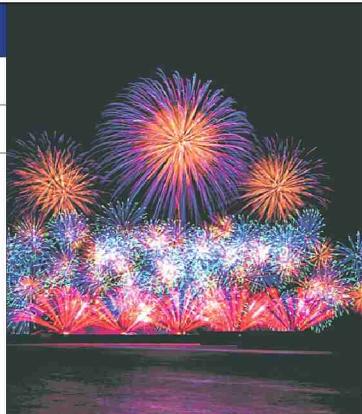
# 特集2

## 有限会社六葉煙火

住所 南九州市川辺町上山田 8062 | 代表者 代表取締役 古閑 潔

### 打上タイミングを正確にコントロールした躍動感あふれる花火演出

花火業界は、原材料が高騰し利益率が低下する中、中国製花火の輸入により価格競争が激化し、資金的問題から事故も発生していた。そこで、安全性の高い電気遠隔点火の導入が求められていたため、タイマー式半回転連射大型打上装置を導入した。装置の導入により、安全性が確保されるとともに、打上タイミングの正確なコントロールや、繊細な動きや迫力を演出することが可能となった。



## 株式会社YSフーズ

住所 南さつま市加世田武田 15103-1 | 代表者 代表取締役 山口 大悟

### 真空ガス置換トレークリーラー導入と自社技術融合による生産性向上と日持ち性に優れた食品生産

市場ニーズに対応すべく、専門家の指導を受け、賞味期限を延長する製法を開発したが、加工工程において必要な無菌活性ガス注入設備がなく、また容器詰め工程の自動化を図る必要があった。今回、真空ガス置換トレークリーラーを導入し、当社の技術を組み合わせて製造することで、日持ち性と生産能力が従来の3倍以上に伸長するとともに、省人化とコストダウンが図られた。

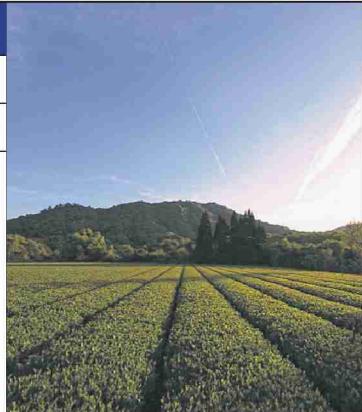


## 株式会社和香園

住所 志布志市有明町蓬原 848-1 | 代表者 代表取締役社長 堀口 大輔

### X線異物検出機の導入によるブランディング強化事業

安全性担保のために世界的な食品衛生規格「FSSC22000」を取得したが、最終商品の異物検査は目視では行うことができず、取引先からの要望もあり早急な対応が必要であった。今回、X線異物検出機を導入し、従来できなかった袋詰め後の異物検出が可能となった。これにより、最終商品の安全が担保できないため困難であった国や企業に対する商品提案の機会が増え、販路の開拓や拡大が可能となった。





## 第3回 メールにご用心 / マルウェアを防ぐ



鹿児島大学 副学長・教授  
学術情報基盤センター長  
森 邦彦  
大学院理工学研究科工学博士

メールを使ってどうやってマルウェア（ウイルスなど悪意のあるソフトウェア・プログラム）に感染させるのか？孫子は「彼を知り己を知れば百戦殆からず」と説いています。手口を知れば対策も見えてきます。

「感染」といってもコンピュータの話ですから、犯罪者側から見れば狙ったPCに悪意のあるプログラムをどうやって忍び込ませて実行するか？ということになります。プログラムは実行形式ファイルという形で保存・転送されます。一番直接的で数も多いのが下表にある「実行形式ファイルの添付」です。メールは本文の他に画像・映像・音声・Word・Excelなどの各種文書ファイルなどを添付して相手に渡すことが可能ですが、とても便利な機能なのですが、当然マルウェアを含んだ実行形式ファイルも添付でき、メールを読んでこの添付ファイルを開けば自分のPC上でマルウェアを実行・感染してしまうことになります。ファイルにはそれがどのような種類かを表す識別子が付いており、これを拡張子と呼んでいます。Windowsではファイル名の一番最後のドット(.)の右側の文字列が拡張子になっています。Word文書であればdocやdocxなどが拡張子として使われています。実行形式ファイルの拡張子はexe, com, bat, cmd, jsなどがあり、メールを開いた人はこれを見て判断すればマルウェアを実行してしまうことは100%防げるはずですが、騙そうとする方は色々な手口でこれを偽装します。

いくつかある方法の中で単純な方法の一つは、ファイル名として「部内回覧文書.doc .exe」などのようにしてdocとexeの間の空白を非常に長くします。そうするとメールソフトの添付ファイルを表示する場所には「部内回覧文書.doc 」としか表示されず（最後の.exeは表示から漏れる）、メールを見た人はWord文書ファイルかと勘違いしてこれを開いてしまいます。偽装の方法は他にもいくつかあり、添付ファイルの拡張子だけをみて判断するにはそれなりの知識が必要になっていきます。要するにパッと見て判断は危ない！ということです。また、最近はマルウェアも高度化しており実行すると当たり障りのない文書をあたかもWordのように表示し、裏でマルウェアを実行します。そうするとクリックした当人もマルウェアに感染したことには気がつかず、発見が遅れる、あるいは発見されない、ということになってしまいます。

メールに添付されたファイルはメールサーバー上でその危険性がある程度機械的にチェックすることが可能

です。そのような製品も販売されており、一部のインターネットプロバイダやメールサービスなどでは無料でチェックするサービスが提供されています。しかしながら、添付ファイルを圧縮したり、暗号化したりすることでこれらのチェック機構をすり抜けることが可能で、矛と盾のいたちごっこがここでも繰り返されています。



ランサムウェアと呼ばれる身代金要求型のマルウェアもこの手口を使っています。ランサムウェアは感染したPCのディスク内のファイルを暗号化し、PCの所有者であってもファイルを開くことをできなくします。画面上には「暗号を解除するにはお金（仮想通貨が主に利用されています）を払え」というメッセージが表示されます。ファイルを開くことが出来なければほとんど全ての機能は利用できません。ネットワークを介して共有しているディスク内のファイルも暗号化してしまいますので、ある部門の業務でこのような共有ディスク（Network Attached Storage : NASといっています）を使っていて感染した場合は悲惨です。ランサムウェアに感染したPCがたった1台でもその部門全体の業務が停止してしまう可能性が大です。解決するには①暗号を解読して解除する、②身代金を払う、③該当PCを初期化する、という方法が考えられます。使われている暗号化技術は高度なものでこれを解読するのは基本的には出来ないか、かなり困難とされています。もし「当社に任せただければ暗号化を解除します」という見知らぬ業者が出てきたら、それは疑ったほうがいいでしょう。その業者は仕掛けた側であるかもしれません。また、身代金を払っても解除できる保証はありませんので、身代金を払うという方法は絶対にお勧めしません。したがって③の該当PCを初期化する、しか方法がありません。感染しないことが一番ですが、感染した場合は初期化してバックアップから復元することが最善の方法となります。普段からこまめにバックアップを取っておくことが肝要です。

下表で残されたURLリンクとHTMLメールについての解説、総合的な防御方法については次回へ。

目的	手口	内容
IDやパスワードを盗む	フィッシング	銀行・通販・GAFAのサイトをまねてIDとパスを入手
マルウェアを感染 (乗っ取り、情報窃取、 身代金要求)	実行形式ファイルの添付 URLリンク HTMLメール	マルウェアを実行する添付ファイル 悪意のあるサイトに誘導してマルウェアを仕込む HHTMLを利用しメールを見ただけでマルウェアを仕込む

表 メールを利用したサイバー被害

## ものづくり補助金フォローアップ事業 展示会出展報告

本会では、ものづくり補助金フォローアップ事業として、過年度のものづくり補助金採択事業者に対して販路開拓支援を行っています。

今年度は、東京・大阪で開催された2つの展示会に鹿児島県地域事務局として出展いたしましたので当日の様子や成果について報告いたします。

### ■東京ビッグサイト「全国 食の逸品 EXPO」

(主催：全国食の逸品 EXPO 実行委員【株】イノベント)

8月27日(火)～29日(木)、東京都江東区「東京ビッグサイト」において、外食、中食、小売などフードビジネスの垣根を超えた食の総合商談会である「全国 食の逸品 EXPO」が初めて開催され、ものづくり補助金で過去に採択された事業者8社の共同出展を行いました。



#### 【出展企業一覧】

(有)大成畜産	 <p>自社で肥育している「やごろう豚」関連商品を出品しました。飲食店から、通販会社、大手デパートまで幅広い業態から商談を受けていました。</p>	 <p>(有)鹿児島ますや</p>
(株)シユウエイ	 <p>食の安心・安全への関心の高まりもあり、「無添加がうれしい」シリーズは、「こだわりの商品」を求めるバイヤー等から注目を集めました。</p>	 <p>(株)新原味噌醤油</p>
(株)西尾	 <p>指宿産の野菜がゴロっと入ったカラフルな創作さつま揚げを出品。3日間で約60件もの引き合いがありました。</p>	 <p>富士屋製菓(有)</p>
(株)ゆいの里	 <p>鹿児島特有の麦味噌と甘い醤油は、飲食店関係の方々に特に人気で、試食の準備が追いつかないほどでした。</p> <p>「いずみどり」を使用した昆布巻きなどを出品。パッケージが可愛く、無添加・常温保存が可能なことから、多くのバイヤーが興味を示していました。</p> <p>伝統の「からいも飴」に加え「さつまいもの粉糖」を出品。パンケーキチェーン店などスイーツ業界にも提案できました。</p> <p>農葉不使用の黒にんにくは健康食品関係の他、バーのおつまみ等、これまでとは違った業界にもアピールできました。</p> <p>伝統の味を発展させたソースや味噌だれ、粉醤油を出品。会期中に商談がまとまるなど、商品力の高さが伺えました。</p>	 <p>吉村醸造(株)</p>

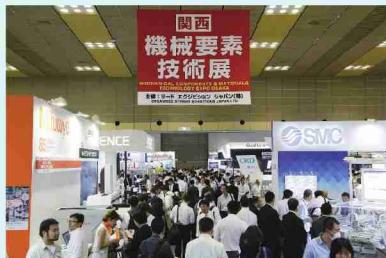


鹿児島県地域事務局のブースとしてまとまって出展することで、鹿児島の食文化に馴染みのない地域の方にも県産品を知ってもらうことができました。会期後の出展者アンケートでは、「展示会後すぐに成約につながった。」「これまで出た展示会の中で一番実りが多かった。」等、ポジティブな意見が多数寄せられました。展示会出展が初めての事業者へ、展示会慣れしている他の事業者がアドバイスし、バイヤー等がブースを訪れた際は、自社だけではなく、お互いの商品も紹介するなど、8社が一丸となって鹿児島をPRし、共同出展として大きな成果を挙げることができました。

## ■ インテックス大阪「第22回 関西 機械要素技術展（M-Tech 関西）」

(主催：リード エグジビション ジャパン(株))

10月2日(水)～4日(金)、大阪市「インテックス大阪」において、軸受・ベアリング・ねじ・ばねなどの機械要素や、金属、樹脂に関する加工技術を一堂に集めた西日本最大の専門技術展「第22回 関西 機械要素技術展」が開催され、ものづくり補助金で過去に採択された事業者4社の共同出展を行いました。



### 【出展企業一覧】



#### (株)オーケー社鹿児島

「静電気が見える！」をキャッチコピーに、放電アナライザーと放電可視カメラを出展。3日間を通してたくさんの機械メーカー等がブースを訪れていました。多くの企業で静電気の対策に追われているということもわかり、ニーズを把握することができました。



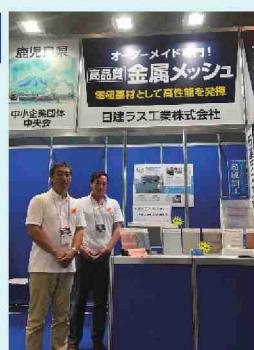
#### キリシマ精工(株)

難削材加工における独自の技術力をPRしました。半導体関連、医療機器など様々な業種の方々から具体的な製品イメージについて加工の可否を問う相談も多く、見積書や図面の提出依頼が相次ぎ、かなりの手応えを感じた展示会となりました。



#### (株)サツマ超硬精密

金型部品加工をメインに出展しました。普段出ている展示会よりもブース訪問者が多く、あまり取引のない業種の方々にも広くPRすることができました。今後の取引につながる種まきとして十分な成果が得られました。



#### 日建ラス工業(株)

ラス・パンチング素材を出展しました。これまで様々な機械メーカー等に当社の商材を目にしてもらえる機会は少なく、今回の展示会で実際に触れていただけのこと、今まで取引のない業種の方々に見ていただき、自分たちの知らない用途などに気づいたことは大きな成果でした。

3日間で延べ4万人を超える来場者があり、本県の「ものづくり補助金」採択事業者の成果を広く周知することができました。また、出展事業者においても、新規取引先の獲得を図る上で絶好の機会となつた様です。

今回は食品と機械系の2つの展示会に出展しましたが、年間を通して様々な業種の展示会が首都圏を中心に開催されています。開催される地域や時期によって来場するバイヤーも異なるため、広く補助事業者を支援できるよう引き続きニーズの掘り起こしを行いたいと思います。また、今後は出展効果を高められるような仕掛けを考え、更なる販路開拓支援に繋げられるように検討していきたいと思います。

## かごんまわっぜかフェスタ‘19を開催

鹿児島県中小企業団体中央会青年部会



10月13日（日）、鹿児島市天文館の天神おつきや商店街において、本会青年部会（宮武秀一會長）及び本会主催による「かごんまわっぜかフェスタ’19」を開催しました。

この取り組みは、青年部会の会員が取り扱っている商品・技術・サービス等を持ちより、会員間はもとより、広く一般に向けてPRすることを目的としており、今回が17回目になります。

アーケード内に設置されたブースでは、訪れた人々が手作り体験や試食などを通じて、様々な業界の取り組みに触れました。

堂園春樹実行委員長（県漬物商工業（協）青年部会会長）は、「県内の業界について親しみを持つきっかけとなってほしい」と挨拶しました。当日は子供連れをはじめ多くの来客がありました。



挨拶を述べる堂園春樹実行委員長



昭和の写真展  
(南日本新聞南伸会)



ユンボ、高所作業車の試乗  
(鹿児島県建設業青年部会)



仏壇技術を使った体验  
(鹿児島県川辺仏壇協同組合青年部会)

### 【出展会員一覧】

青年部名	出展内容
南日本新聞南伸会	南日本新聞所蔵の写真のパネル展示、南日本新聞の試読紙配布、白黒写真のカラー化
鹿児島県印刷（工）青年部黎明さつま	AR サイネージ体験
鹿児島県漬物商工業（協）青年部会	真空包装された漬物の PR 及び試食
鹿児島県建設業青年部会	ユンボ・高所作業車の試乗、土石流及び石橋（アーチ）の実演、パネル展示
鹿児島県生コンクリート（工）青年部会	パネル展示、シールの配布、材料の展示
鹿児島県板硝子商工（協）青年部	エコ硝子、内窓、ガラスフィルム・その他住宅エコポイント対象商品の展示、ガラスエッチングコーナー
鹿児島県川辺仏壇（協）青年部会	箔押し、蒔絵、木工、金工の体験



## 和菓子づくりを通じて、新たな商品開発について学ぶ

鹿児島県菓子工業組合

10月1日（火）、鹿児島市の「株式会社丸菱 鹿児島営業所」において、鹿児島県菓子工業組合（比良田輝明理事長）を対象とした講習会を開催しました。

有限会社福一（千葉県我孫子市）代表取締役社長の池田尚史氏を講師に、「即戦力になる店売品」と題して講演が行われました。池田氏は、30年近く和菓子職人として技術の研鑽に努め、特に工芸菓子では全国屈指の技術からメディアや業界誌等でも取り上げられています。

講習会では、池田氏が考案した大福や羊羹などの和菓子などについて実演を交えて紹介され、製造する際のポイントや販売時の留意点などについて解説されました。

千葉県菓子工業組合の副理事長としても活躍する講師は「後継者不足や増税、キャッシュレス決済への対応等、菓子製造業者が抱える課題は数多くあるが、組合や中央会を活用して課題解決につなげてほしい」と話され、受講者は熱心に耳を傾けていました。



## チャリティゴルフ大会を開催

中央会青年部会

10月25日（金）、鹿児島市の南国カンツリークラブにおいて、本会青年部会（宮武秀一會長）によるチャリティゴルフ大会を開催しました。本大会は、会員相互の交流と親睦を図ることを目的としており、当日は30名（9組）が参加しました。

なお、本大会のチャリティ募金は、毎年12月に実施している「青年部会ボランティア事業」に充てられ、社会福祉等に役立ててもらえるよう寄付を行っています。

～結果は以下のとおり～

優 勝 吉田 健勝（鹿児島県環境整備事業(協)青年部会）

準優勝 福元 幸介（鹿児島県トラック協会青運会）

第3位 田島 功輔（鹿児島県建設業青年部会）

第4位 本山 大（鹿児島県建設業青年部会）

第5位 三浦 友裕（鹿児島電気工事業(協)青年部会）

ベストグロス賞

山本 一道（鹿児島県建設業青年部会）



## 新工場落成式、創立45周年記念式典を開催

協業組合ユニカラー



新工場外観



記念式典の様子

10月13日（日）、協業組合ユニカラー（岩重昌勝理事長）が新工場落成式及び創立45周年記念式典を開催しました。

本組合は、昭和49年4月に鹿児島県内の印刷業5社により設立された「サツマ特殊製版協同組合」が前身で、昭和52年1月、組合員のうち4事業者により印刷業としては県内初となる完全協業を目的として組織変更を行いました。

それぞれの専門印刷技術を活かし、デジタル化等の時代の変化にいち早く対応するための積極的な設備投資や技術研鑽を行い、「より良い物を少しの人に」を経営方針として、量を追わず、特殊印刷等の他にはない価値を求ることを本分として質の高い仕事に取り組んできました。

平成30年11月に日置市と企業立地協定を結び、令和元年9月に新工場が完成しました。伊集院町の旧パナソニック工場跡地（敷地面積：約9,400平米）に建設された新工場には、最新式の印刷機を導入したほか、仕上室等の導線を見直すことで品質・生産性が格段に向上し、更なる印刷技術の向上による地域経済の発展や新たな雇用の創出に貢献するものと期待されます。

記念式典には来賓など300名以上が出席し、組合の新たな門出を盛大に祝いました。



最新式の印刷機も新たに導入



仕上室

【協業組合ユニカラー】

〒899-2504  
日置市伊集院町郡2042番39  
理事長：岩重昌勝  
組合員数：2名  
設立：昭和49年4月23日  
主な事業：  
特殊印刷・一般商業印刷等  
電話：099-813-7213  
FAX：099-813-7214

## 近代農業の振興推進を図る個人が企業組合を設立 ～鹿児島令和企業組合 創立総会を開催～

9月25日（水）、鹿児島令和企業組合（発起人代表 姫城勝男氏）が創立総会を開催しました。同組合は、大隅地方の個人4名が、農作物の生産販売、竹の加工材販売、農業経営指導等の実施を目的に設立したものです。

理事長に選任された姫城勝男氏は、「人口減少・少子高齢化のなかにおいて近代農業の振興を推進し、地球環境の変化に耐えうる農業のあり方を模索していきたい。」と抱負を述べました。

### 【組合プロフィール】

名 称：鹿児島令和企業組合

所 在 地：鹿児島県肝属郡肝付町後田2445番地

理 事 長：姫城勝男

組合員数：4人

主たる事業：農作物の生産販売、竹の加工材販売等

設 立 日：令和元年10月9日



組合員のみなさん  
(右から2人目が姫城理事長)

## 耕種農業・畜産農業に取り組む事業者が組織化 ～国際人材創生事業協同組合 創立総会を開催～

10月3日（木）、国際人材創生事業協同組合（発起人代表 堀之内辰男氏（有限会社堀之内農園代表取締役））が創立総会を開催しました。同組合は、鹿屋市、肝属郡南大隅町、錦江町、肝付町の耕種農業・畜産農業者4人による組織化です。共同購買事業や教育情報提供事業を実施する計画で、将来は外国人技能実習生共同受入事業を視野に入れています。

理事長に選任された堀之内辰男氏は、「農業者は資材の高騰や、人材確保等課題が山積するが、共同購買による経費削減や、教育情報提供事業による資質の向上に努めていきたい。さらに、実習生受入事業実施に向けた準備を進め、将来は模範となるような適正な監理団体となれるよう頑張っていきたい。」と抱負を述べました。

### 【組合プロフィール】

名 称：国際人材創生事業協同組合

所 在 地：鹿児島県肝属郡肝付町前田4548番地8

理 事 長：堀之内辰男

組合員数：4人

主たる事業：共同購買、教育情報提供

設 立 日：令和元年10月18日



組合員と関係者のみなさん  
(前列中央が堀之内理事長)

## 令和元年9月 情報連絡員報告

令和元年9月期における鹿児島県内45組合（傘下組合員数4,160社）の景況は次のとおり。

### 【前月比】

10月からの消費税増税に伴う駆け込み需要の恩恵に与った業界が多く、売上高が一時的に増加した。それに伴い業界の景況や収益状況もマイナス幅が縮まった。一方で増税後の反動減を不安視するコメントも多数寄せられた。

### 【DI値 前月比】

#### ■ DI値 前月比較

	前月	今月	比較結果
	令和元年8月	令和元年9月	
業界の景況	-13	-4	↑
売上高	-18	-2	↑
在庫数量	-1	1	↑
販売価格	-4	0	↑
取引条件	-4	-1	↑
収益状況	-14	-6	↑
資金繰り	-10	-4	↑
設備操業度	-7	-3	↑
雇用人員	-6	-5	↑

※ 比較結果(数値の範囲) = +10以上 = +5～+9 = 0～+4 = -1～-9 = -9以下

DI値とは、前月又は前年同月に比べ「好転・増加」したとする回答数から「悪化・減少」したとする回答数を差し引いた値です。

### 【前年同月比】

業界の景況、売上高、収益状況の値が増加したのは、駆け込み需要の影響と考えられる。依然、先行きの不透明さへの懸念は払拭されておらず、人材不足を訴える声は深刻さを増している。

### 【DI値 前年同月比】

#### ■ DI値 前年同月比較

	前年	今月	比較結果
	平成30年9月	令和元年9月	
業界の景況	-16	-4	↑
売上高	-15	-2	↑
在庫数量	-4	1	↑
販売価格	-1	0	↑
取引条件	-3	-1	↑
収益状況	-16	-6	↑
資金繰り	-8	-4	↑
設備操業度	-4	-3	↑
雇用人員	-3	-5	↓

## 製造業

### 食料品（味噌醤油製造業）

8月に引き続き、荷動きの良くない月となった。月末近くになり、消費税率改定に伴う動きなのか仮需に近い動きも見られたが、前回の増税時に比べ遙かに弱いものだった。税率据え置きの食品ではあるが、改定後の消費者の買い控えの動きにつられないか懸念される。

### 食料品（酒類製造業）

(令和元年9月分データ)

(単位:kℓ・%)

区分	H30.9	R1.9	前年同月比
製成数量	17,815.6	15,289.3	85.8%
移出数量	県内課税	2,756.2	3,368.8
	県外課税	4,320.1	5,095.7
	県外未納税	2,050.4	2,132.6
在庫数量	216,108.6	214,634.6	99.3%

### 食料品（漬物製造業）

小売用、業務用共に動きが悪い。一般野菜の価格が上がれば、漬物販売に動きが出てくるので期待している。

### 食料品（蒲鉾製造業）

旅行や運動会シーズンが到来したものの、台風の接近の影響で観光客の減少や運動会の延期を招いたため売上が伸びなかった。日配品も安値商品との競争が激しく、結果的に県外の商品に負けている。全体で見ると、4%のダウンとなった。また、原材料のすり身価格は前年比で5%程度値上がりしている。

### 食料品（鰹節製造業）

昨年同時期は165円～188円（4.5kgサイズの1kg単価）だったが、今年は125円～150円と生値での原価が20%～25%程安くなっているが、品質的にはあま



り良好ではない。業界の景況についても良いとは言えず、従業員の残業も減少していることから、厳しい状況になってきている。

#### 食料品（菓子製造業）

敬老の日やお彼岸など行事は多かったが、残暑が厳しかったため、店売りの伸びはあまりなかったようである。どうやら、昔ながらの行事をする人も減っているようである。

#### 食料品（茶製造業）

共販実績は前年度売上対比97%（前年同月売上対比109%）

#### 大島紬織物製造業

11月14日（木）から17日（日）まで本場大島紬フェスティバルを開催する予定である。

#### 本場大島紬織物製造業

生産反数は285反で、昨年同月に比べ30反増となった。

#### 木材・木製品

原木素材・製材製品共に取引量は激減した。消費増税前の駆け込み需要もなく、買い方は極めて醒めた対応に終始した。素材においては輸出材の貿易環境が混沌としており、製品は相変わらず実需下支えに乏しく、当分は先行き不透明な状況が続くとみられる。

#### 木材・木製品

住宅着工は落ち着いており、製品製材の荷動きは前期に比べ持ち直している。製材各社とも秋需期に向けた製品の生産在庫を確保しているものの、売上が期待できない状況にある。米中貿易戦争が激化し、木材製品についても関税率が上がったことにより、中国から米国への輸出が減少している。丸太輸出価格は値下がりしており、輸出量も減少していることから、原木価格は当面弱保合いとなる見込みである。

#### 生コン製造業

9月度の総出荷量は117,199立米（対前年比109.5%、

うち官公需は49,416立米（同比108.7%）、民需67,783立米（同比110.1%））で官公需、民需共に増加となった。増加した地域は8地域（増加順に、屋久島255.2%、宮之城180.6%、喜界島162.0%）で、残り8地域が減少（減少順に奄美南部41.8%、沖永良部70.9%、川薩79.9%）となった。なお、鹿児島地域は、対前年度比で官公需218.8%、民需118.1%の合計133.2%となっている。

#### コンクリート製品製造業

9月度の出荷量は7,248トンの前年度同月比102.3%となり、前年度同月比を若干上回る結果となった。地区的には鹿児島地区、南薩地区、姶良・伊佐地区、大隅地区、熊毛地区が前年度を上回った。なかでも、熊毛地区は前年度同月比168%と大幅に上回った。しかしながら、10月度の受注は増えておらず、今後の受注増を期待したい。

#### 鉄鋼・金属（機械金属工業）

年内は繁忙続くと思われるが、ボルト問題や工程変更などの対応に苦慮しているという声が聞かれる。年明けに仕事量が減少するのではないかと心配している組合員も多く、先行きが見通せない状況である。

#### 畳製造業

組合員間において仕事の差が広がりつつある。9月は消費税増税に伴う駆け込み需要により、一定の仕事量を確保した。

#### 印刷業

2年おきに全国印刷工業組合連合会のフォーラムが開催されるが、今回は東京ではなく大阪であった。ダイバーシティやCSR推進等昨今の世情で必須となっているテーマでの委員会会議やセミナーが開催された。経営だけでなく、組合員のスキルや情報産業としての使命感を高めるための会合であり、およそ300名が参加した。

## 非 製 造 業

#### 総合卸売業

消費増税前の駆け込みが見られた（生活必需品小売、燃料小売、酒類卸）。一方で、消費増税後の反動や人材確保、賃金上昇を不安視する組合員が多い。

#### 水産物卸売業

前年同月比で、数量が94.2%、販売金額が95.2%、販売単価が101.2%と需給バランスの取れた月となった。昨年と比較すると冷凍魚の健闘が目についた。新市場棟1工区での魚食普及活動、恒例のお魚まつり（10月20日開催）等これからも魚食普及率の向上を目指したい。

#### 燃料小売業（LPガス協会）

10月積み中東産の液化石油ガスはプロパンが420ドル

（前月比+70ドル）、石油化学原料のブタンは435ドル（前月比+75ドル）と大きく上昇した。サウジアラビア石油施設へのテロ攻撃による影響が大きく、前後で大幅に変動した。前半は米国産の供給が潤沢で、中国、インド、インドネシア需要が下支えをしたが、テロ攻撃の後では産出国が積出の遅延を通知する等タイト感が急速に強まった。日本は米国からの調達が大きいため、大きな影響はないと思料されるが、今後の動きには注視する必要がある。

#### 中古自動車販売業

上旬は駆け込み需要は殆ど感じられなかったが、中旬以降売れ行きが伸びてきたのは、結果として駆け込み需要だったのだろうと思われる。しかしながら、日本

各地で頻発する災害により車需要が高まり、価格が高騰しているため仕入が困難である。一方で、消費増税による反動減が今後懸念される。9月にオープンした県外大手資本は目標を達成し、順調なスタートを切ったようである。今後の動向次第で、売れ行きが左右されると懸念している。

## 石油販売業

サウジアラビアの石油施設テロ被害の復旧見通しが不透明なことから、原油価格の上昇に伴い、元売りの卸価格も大幅に上昇した。一方、小売価格への転嫁を余儀なくされたものの、市場は厳しくマージン悪化を惹起した。下旬は消費税増税前の駆け込み需要が見られるものの、税率引き上げとキャッシュレスポイント還元のカード利用拡大で資金繰りに支障をきたすことが懸念される。

## 鮮魚小売業

旬の目玉となるサンマの激減で売上に大きな影響が出てた。特に量販店においては塩サンマの売上が大きく、他の魚種でカバーしきれない状況であった。中旬においては、例年通り台風の影響が出た。年々変化を感じることに、小・中学校の運動会のお弁当の内容が挙げられ、エビやブリの切り身、昆布巻用のサバ等が以前に比べ大きく落ち込んでいる。年末のおせち料理にも同じことが言え、各家庭で調理されなくなっている。出来合いが増えているように感じる。

## 商店街（霧島市）

商店街の売上動向は前年並みであり、特に主だった行事等もなかった。増税前の駆け込み消費も目立った動きはなかったように感じられた。一方で、個人商店などからキャッシュレス決済の導入に関する問い合わせが多くあり、商工会や商工会議所でキャッシュレスについてのセミナーも開催されていた。

## 商店街（鹿児島市）

来街者及び通行量は依然減少している。

## サービス業（旅館業／県内）

アジア情勢による来訪者の減少が目立ち、宿泊者数の減少率は鹿児島市より指宿市の方が大きい。人手不足と共に影響が懸念される。

## 測量設計業

人材不足のため、人材の確保に苦労している。

## 旅行業

香港・韓国との情勢悪化に改善の兆しが見えず、業界的にも焦りが出てきている。韓国の格安航空会社であるイースター航空は、10月下旬までの予定であった減便を来年の3月末まで延長すると明らかにした。大韓航空は11月中旬まで運休としているが、それ以降については様子見となっている。香港、台湾、韓国からの旅行客は、例年ゴルフ需要が高まる冬場に増加する傾向があるが、今年はどうなるか懸念する声が聞かれる。また、香港や韓国へのモニターツアーの案内が届いており、料金は安価であるものの、安全確保の観点から催行は容易ではない。

## 建築設計監理業

着工統計では、建築物及び住宅ともほぼ先月同様であり、今年度累計でも昨年度とほぼ同水準で推移している。なお、公共建築等では金額の大きい物件の発注はなかった。

## 自動車分解整備・車体整備業

前半は特に忙しくなかったが、中旬以降から車検の台数が多くなった。消費税増税の影響が多少あったのかかもしれない。

## 電気工事業

官庁工事も例年通り発注件数は変わらないが、工事内容により不調の物件が散見される。民間工事も大型物件が見受けられるが、地元業者が請ける物件が少なく、末端の現場を受注している状態である。

## 造園工事業

秋口にかけては、公共工事の準用河川草刈り・公園草刈り業務等が多くあり、仕事量は多かった。その分売上にも貢献した。売上は昨年同月と比べると、今年は特殊要因がなかったため横這いであったが、一昨年同月と比べると4割ほど増加している。

## 管工事業

公共・民間工事共に工事量は堅調に推移しているが、技術者不足がより顕著になってきた。また、交通誘導員の不足も相俟って工事が予定通りに進まない現場が見受けられる。

## 建設業（鹿児島市）

建設技術者や建設技能者の高齢化が進む中、建設業における担い手確保は喫緊の課題となっている。建設産業の魅力を発信するとともに、人材確保・育成対策の取組みを積極的に推進する必要がある。

## 建設業（南さつま市）

南薩地区（指宿を除く）の土木公共事業の発注額は、昨年同月に比べ、2倍近くとなっている。特に南さつま市内での発注が2倍以上と大きく増加している。その他、コンクリート製品は1.3倍、生コンは同程度となっている。

## 貨物自動車運送業

県下165運送事業者の燃料の購買動向は、前月と比較して109.36%の増加となり、前年同月と比較して、102.07%の増加となった。

## 運輸業（個人タクシー）

先月同様、夏日が多かったため需要も底堅かった。消費税率の引き上げによってタクシー運賃も値上げすることから、増税後の動向を注視する必要がある。

## 運輸・倉庫業

離島からの農産物出荷が台風の影響で減少したため、上り荷物の物量確保に苦慮した。増税前の月末直前の2・3日は下り荷物は多かった。荷主に対し、配達単価の値上げや燃料サーチャージの要請を行っている。サウジアラビアの石油施設へのテロの影響で燃料価格は上がっており、経営を圧迫している。

## 令和元年10月 鹿児島県内企業倒産概況

(負債額1,000万円以上・法的整理のみ)

(株)帝国データバンク 鹿児島支店

**件数2件 負債総額2,000万円**

**[件数] 前年同月比4件減 [負債総額] 前年同月比97.9%減**

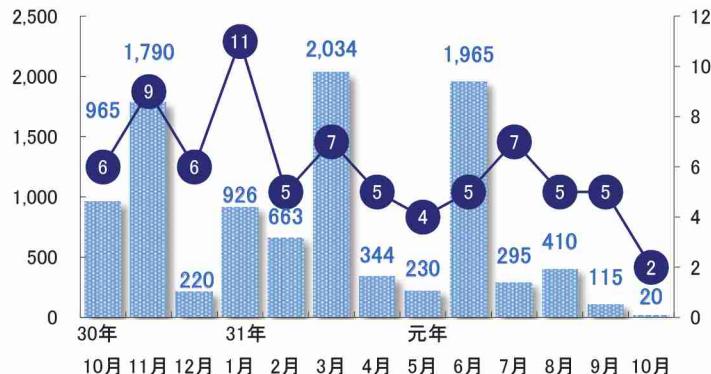
### ポイント

～件数、負債総額ともに2019年最少となつた～

- ◆10月の倒産件数は2件で前月比3件減、前年同月比4件減だった。負債総額は前月比950万円減、前年同月比9億4500万円減となり、件数、負債総額ともに2019年に入って最少となつた。
- ◆規模別では、法人の倒産がなく、個人事業者のみだった。
- ◆態様別では2件とも「破産」だった。

鹿児島県の倒産推移(平成30年10月～令和元年10月)

(百万円)



### 【今後の見通し】

鹿児島県の10月の倒産件数は2件（前年同月比4件減）にとどまり8カ月連続で前年同月比減となった。負債総額も小規模の個人事業者のみの倒産だったため、2,000万円（前年同月比97.9%減）と低位となった。

帝国データバンクが毎月行っている「TDB景気動向調査」によると、鹿児島県の10月の景気DIは46.5で前月より3.3ポイント改善した。9業界中、「運輸・倉庫」の1業界が悪化したが、「農・林・水産」「金融」「不動産」「小売」の4業界が横ばい、「建設」「製造」「卸売」「サービス」の4業界が改善となった。働き方改革関連法遵守に向けたIT投資が増えているとの声がある一方、大韓航空がソウル～鹿児島便の1月～3月の運休決定による観光、レジャー産業への影響、消費税率引き上げの影響など、先行きを懸念する声も強かった。

2019年10月29日に（株）九州経済研究所が発表した「県内景況」によると、引き続き「全体としてやや弱まっている」となった。電子部品関連はやや弱含み、9月の紙パルプ生産は5カ月連続で前年を下回り、畜産関連は9月の豚肉相場は前年を上回ったが、肉用牛（和牛）、ブロイラー、鶏卵相場は前年を下回った。観光関連も9月の主要ホテル・旅館宿泊客数が国内と韓国からの入り込みが減って前年を下回った。

10月の倒産件数、負債総額はともに低水準の状態が続いている。しかし、景況が改善している訳ではなく、日韓外交問題による韓国からの観光客減少や、消費税増税後の消費の冷え込みなど先行きの営業環境悪化を懸念する声も多いことから、景気動向について注視していく必要がある。

### 令和元年10月 主な企業倒産状況（法的整理のみ）

企業名	業種	負債総額 (百万円)	資本金 (千円)	所在地	態様
【個人】	不動産売買	10	-	鹿児島市	破産
【個人】	リフォーム工事	10	-	大隅地区	破産

※主因別では、「販売不振」2件

# 中央会関連主要行事予定

## 組合自治監査講習会

組合における監事の監査知識を深め、監査制度をより実効あるものとするために、例年標記講習会を開催しております。組合の監事のご出席につきまして、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

日時：令和2年1月30日(木)13時30分～17時00分  
場所：鹿児島サンロイヤルホテル

講師：監査法人かごしま会計プロフェッショナル  
社員・公認会計士 森 毅憲 氏

※講習会の後、鹿児島県労働委員会からお知らせがあります。

## 組合決算講習会

決算期における経理処理、組合と中小企業に関する税制の概要等について理解を深め、適正な会計事務の推進を図る決算講習会を開催します。組合特有の会計処理や主要税制のほか、10月に実施された消費増税に伴う複数税率の処理方法についても重点的にご説明いたしますので、是非ご参加ください。

日時：令和2年2月20日(木)10時00分～16時00分

場所：鹿児島サンロイヤルホテル

講師：税理士法人さくら優和パートナーズ  
所長・税理士 貫見昌良 氏



### 今月の表紙

## 第71回中小企業団体全国大会（鹿児島アリーナ）

11月7日(木)、令和初となる第71回中小企業団体全国大会を鹿児島アリーナで開催し、全国から約3,000名にご来場いただきました。

開催にあたり多数の組合関係者の皆様方からご参加・ご協賛をいただきました。改めて厚く御礼申し上げます。

## 令和元年12月

1日 (日) 10:00	中小企業組合検定試験 鹿児島市「中央会会議室」
12日 (木) 17:30	青年部講習会 鹿児島市「ホテルパレスイン鹿児島」

## 令和2年1月

7日 (火) 10:00	中央会年始会 鹿児島市「鹿児島サンロイヤルホテル」
30日 (木) 13:30	組合自治監査講習会 ※詳細は左に記載

## 令和2年2月

20日 (木) 10:00	組合決算講習会 ※詳細は左に記載
------------------	---------------------

## 中小企業かごしま

(令和元年度 活性化情報第3号)

発行人：鹿児島県中小企業団体中央会  
会長 小正芳史

〒892-0821 鹿児島市名山町9番1号 県産業会館5階

TEL: 099-222-9258 FAX: 099-225-2904

HP: <http://www.satsuma.or.jp/>

印刷所：斯文堂株式会社

